

第73回 日本薬学会関西支部総会・大会

# プログラム集

開催日 2023年10月14日(土)

会場 神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス



# 目 次

ご挨拶	2
大会案内	3
お知らせとお願い	4
総会・大会タイムテーブル	12
総会・大会プログラム	14
「在宅医療推進教育プログラム（HOPE）2023」について	17
座長一覧	19
協賛・寄附	21
一般学術講演プログラム（口頭発表）	22
一般学術講演プログラム（ポスター発表）	33

協 賛

## ご 挨拶

この度、2023年10月14日(土)、神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパスにおきまして「第73回日本薬学会関西支部総会・大会」を開催させていただくことになりました。新型コロナウイルス感染症という未知の感染症に襲われ、長期間にわたり多くの学会の開催がオンラインであるいはハイブリッド形式で行われてきました。会員の皆様からは、オンライン開催の方が、参加が容易であるとの声も聞こえて参ります。一方で、オンライン開催では充実した討論や、新たな交流などが難しいとの声もあります。そこで、第73回日本薬学会関西支部総会・大会は、摂南大学において対面形式にて開催された第72回大会を参考にさせて頂き、対面形式にて行う予定にしております。本大会は、薬学会関西支部会員の重要な情報交換の場でございます。加えて学部学生、大学院生をはじめ若手研究者が発表・討論を通じて自分自身を成長させる機会であり、さらに、支部の先生方の研究成果発表の場を提供する場でもあります。本大会において熱い討論を交わしていただけることを期待しております。

また、本年度の特別講演には、医療ビッグデータ解析・医療シミュレーションや、スーパーコンピュータ”富岳”を用いた創薬シミュレーション研究の第一人者、京都大学 大学院医学研究科ビッグデータ医科学分野教授 兼 理化学研究所・計算科学研究センターHPC/AI駆動型医薬プラットフォーム部門、部門長の奥野恭史先生と創薬・生命科学を志向した有機化学をベースに、新触媒・新反応・新機能の創出において第一線で活躍されている京都大学 化学研究所教授 大宮 寛久先生にお願いしております。本年度の特別講演は、ランチョン形式にて開催させて頂く予定にしております。

充実した大会となりますよう精一杯準備させていただきます。多くの皆様にご参加いただき、活発で有益な討論を行っていただけることを願って、ご挨拶とさせていただきます。

第73回日本薬学会関西支部総会・大会  
組織委員長 屋山 勝俊 (神戸学院大学・薬学部長)

## 第73回 日本薬学会関西支部総会・大会

(73rd Kansai Regional Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan)

【会場】 神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス  
〒650-8586 神戸市中央区港島 1-1-3

(大会に関する問合せ先)

第73回日本薬学会関西支部総会・大会組織委員会  
組織委員長 屋山勝俊、実施委員長 杉岡信幸

Tel: 078-974-1551

E-mail : kansai73@pharm.kobegakuin.ac.jp

### 【会場アクセス】



姫路	36分	神戸	約15分	ポートアイランドキャンパス
	JR神戸線新快速		直通バス	
大阪	39分	三ノ宮・三宮・神戸三宮	約14分	
	JR神戸線新快速		直通バス	
京都	22分	みなとじまキャンパス前	約6分 徒歩	
	JR京都線・神戸線新快速			
奈良	53分	神戸新交通 ポートライナー	約9分	
	JR京都線・神戸線新快速			
	約80分			
	近鉄奈良線・ 阪神なんば線・阪神本線			

※所要時間はあくまで目安です。

※会場には駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

## お知らせとお願い

### 【受付】

- 午前9時30分から、B号館2階学生ラウンジの総合受付にて行います。
- 事前参加登録をお済ませの場合は、受付は必要ありません。受付前のネームカードホルダーをお取りになり、事前にダウンロードし（HPにてお知らせします）印刷した参加証を入れて、各教室等に直接お越しください。
- 当日参加登録は、総合受付で参加申込書に必要事項をご記入の上、参加費（現金のみ対応）をお支払いいただき、参加証（領収書付）、ネームカードホルダー、プログラム集をお受け取りください。事前登録されていない大学院生・学部学生も当日参加登録をお願いいたします。
- 会場内では、参加証をネームカードホルダーに入れて身につけてください。
- 会場内では、携帯電話・スマートフォンはマナーモードにしておくか、電源をお切りいただき、会場内での通話をご遠慮ください。
- 会場内（講演・ポスター）での撮影や録音をご遠慮ください。

### 【参加費】

	一般	大学院生・学部学生
事前登録	4,000円	無料
当日登録	5,000円	無料

大学院生・学部学生の方は、学生証をご提示ください。

日本薬学会会員の参加費は「不課税」、会員外の方の参加費は「課税（内税）」となります。参加費にはプログラム集（冊子体）ならびに講演要旨集（PDF）の費用が含まれます。

### 【研修認定】

本大会は、日本薬剤師研修センター（単位数：3単位）ならびに日本病院薬剤師会認定薬剤師制度（単位数：2.5単位）が認められています。取得できる研修単位は薬剤師研修センターか日本病院薬剤師会のいずれか一方となります。

ただし、配付には「10:20までに入場し、17:00より前に退場しない」条件を満たすことが必要です。

日本薬剤師研修センターと日本病院薬剤師会発行の認定シールの申請手順及び配布方法の手続きが異なりますのでご注意ください。

また、変更となる場合がありますので、申請の際は総合受付でご確認ください。当日は写真付き身分証明書等、本人確認できるものもご持参ください。持参されなかった場合、申請を受け付けることができませんのでご注意ください。

入場受付時間： 9:50～10:20

退場受付時間： 17:00～17:30

#### ■日本薬剤師研修センター

1. 交付にあたっては、日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度の基準に則って扱いますので、各

自でご確認ください。

2. 薬剤師研修・認定電子システム (PECS) への事前登録によるご自身の QR コードの取得をお願いします。
3. 開始時間前および終了時間後に PECS 読取り装置により登録をお願いします。
4. PECS の QR コード読取り装置は、総合受付横の専用受付に設置します。

#### ■日本病院薬剤師会

1. 交付にあたっては、日本病院薬剤師会の病院薬学認定薬剤師制度の基準に則って扱いますので、各自でご確認ください。
2. 総合受付横の専用受付にて参加証に押印を受けてください。
3. 終了時間後に専用受付でチェックを受けシールを受け取ってください。

### 【一般学術講演（口頭発表）の演者へ】

会場にある PC を使用して発表して頂きます。PC の持ち込み講演はご遠慮ください。

以下の注意事項に従い学会の円滑な進行にご協力いただきますようお願いいたします。

#### 口頭発表用データの事前提出（Web）

- 学会 3 日前（2023 年 10 月 11 日（水））12:00 までに、ホームページ上のマイページをクリックし、「一般学術講演用発表データ提出先のリンク」より提出をお願いいたします。
- アップロードするファイルは【PowerPoint（.ppt、.pptx）】のみ受付いたします。ファイル名は【演題番号\_発表者氏名\_投稿日 4 桁（X-99\_学院太郎\_1001）】としてください。
- 発表は【Windows 10 または 11, Microsoft Office 2019, PowerPoint】を使用します。Mac ユーザーの講演者は Windows PC で動作確認とズレ等がないことを確認の上アップロードをお願いいたします。

#### 【発表用データについて】

- 発表データに動画や音声ファイルの挿入はご遠慮ください。
- Excel ファイルの表を挿入する際には、図として保存、挿入することをお勧めします。
- ご提出いただいた発表用データは、発表後、事務局が責任を持って消去いたします。

#### 【発表時間】

- 一般口頭発表 12 分（発表 10 分、質疑応答 2 分）

#### 【発表の流れ】

##### 発表の 1 演題前

- 各会場、前方の次演者席で待機してください。
- 会場受付等はありません。

##### 演者交代～発表

- 前演者の発表終了後、座長の進行のもと、発表を行ってください。
- 発表終了 1 分前（1 鈴）、終了時（2 鈴）、及び質疑応答終了時（3 鈴）にそれぞれベルを鳴らします。発表時間の厳守にご協力ください。
- レーザーポインターは、事務局で用意いたします。

## 発表後

- 発表終了後、演台にマイクとレーザーポインターを置いて次演者と交代してください。

### 【座長・審査員の先生方へ】

- 審査用紙をお渡ししますので、座長・審査員受付（B号館2階学生ラウンジ）にお越し下さい。
- 各会場の前方に、次座長席を設けております。ご担当時間の15分前までに、次座長席にてご待機ください。
- 進行は、1演題につき発表10分、質疑2分での進行をお願いします。また、時間厳守で進行くださいますようお願いいたします。

### 【一般学術講演（ポスター発表）の示説者へ】

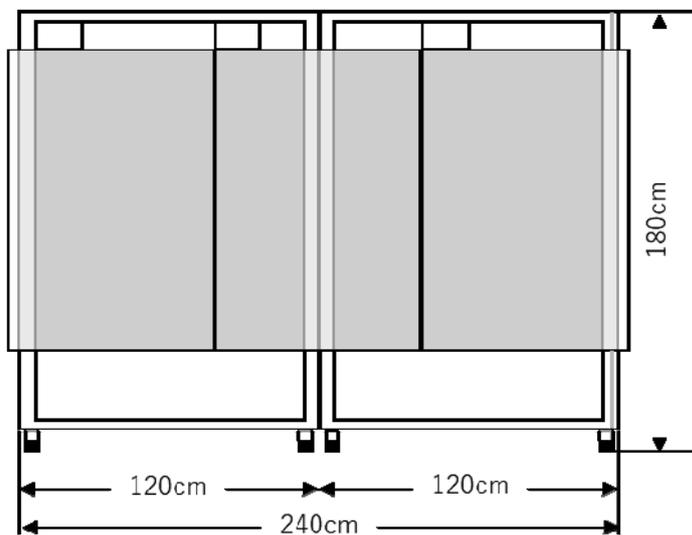
#### 貼付・示説・撤去

- ポスターの貼付および撤去は、各自でお願いいたします。会場内のご自分の演題番号パネルに掲示してください。
- 掲示用のピンは事務局で用意いたします。
- ポスター発表は、下表に指定した80分間で示説をお願いいたします。
- 発表者は、指定の発表時間に各自ポスター前にて待機をしてください。撤去時間を過ぎても掲示されているポスターは、事務局で処分いたします。

演題番号	貼付	示説	撤去
奇数番号	10:30～12:00	13:50～15:10	16:30～17:00
偶数番号	10:30～12:00	15:10～16:30	16:30～17:00

#### 『ポスター作成の注意』

- 図の通り、大会事務局にて展示用ボードを準備しております。幅120cm、高さ180cmのボード2枚に、A0サイズのポスター3枚を並べると、余白がボードからわずかにはみ出てしまいますので、余白を折り曲げるなどして、両隣のポスターと重ならないよう、ご協力ください。ポスター貼り付け位置の左側上部に、幅20cm、高さ10cmの演題番号を大会事務局にて張り付けております。ポスターは以上のスペースに展示できるサイズにて作成してください。ポスターを複数枚用紙で構成される場合、ボードのつなぎ目の出っ張りにご注意ください。



**【優秀口頭・ポスター発表賞について】** 優秀口頭・ポスター発表賞の受賞者は、後日大会 Web サイトで発表し、賞状と副賞を郵送いたします。

## 昼食

- 特別講演（ランチョンセミナー形式）にご参加ください。お弁当を用意しております（万一不足の場合は御容赦下さい）。
- ジョリポーレストラン（B号館1階）、学生食堂シーガル（D号館1階）、コンビニ（B号館1階）が営業しています。

## 休憩室

- B号館2階 B211、3階 B304 に、休憩室を設けておりますのでご利用ください。

## 【クローク】

- B号館2階 B205 にご用意しておりますが、ご利用は最小限としていただくようご協力をお願いいたします。貴重品、壊れもの、生鮮品等はお預かりできません。

## 【Free wifi】

- 本学は eduroam に加入しておりますので、ご利用ください。また、Free wifi は、当日総合受付にてご案内致しますので、ご確認ください。

## 【録音・撮影】

- 講演やポスターの録音・録画・撮影は固くお断りいたします。

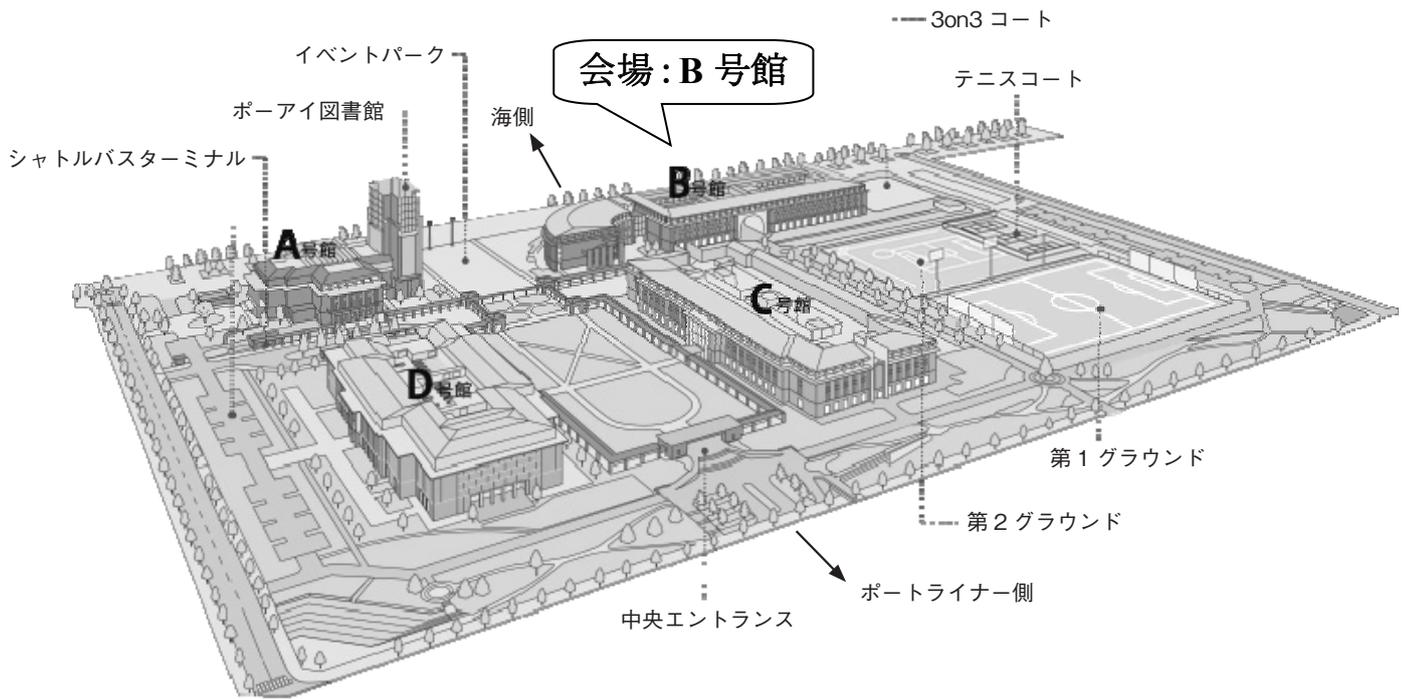
## 【喫煙】

- 本学はキャンパス内全面禁煙としております。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

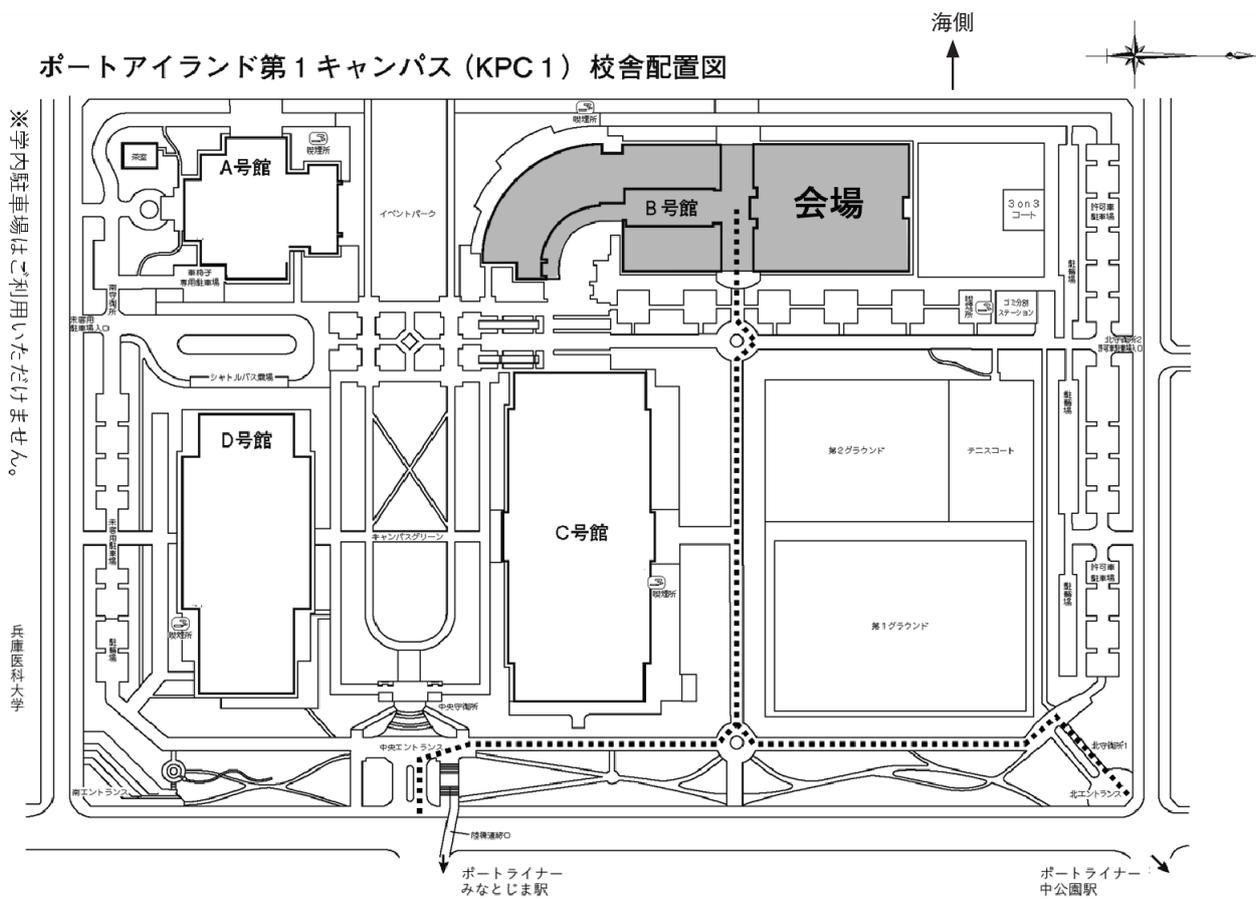
## 【駐車場】

- 学内の駐車場は、ご利用いただけません。近隣の駐車場または公共交通機関をご利用ください。

# ポートアイランド第1キャンパスマップ (KPC1)

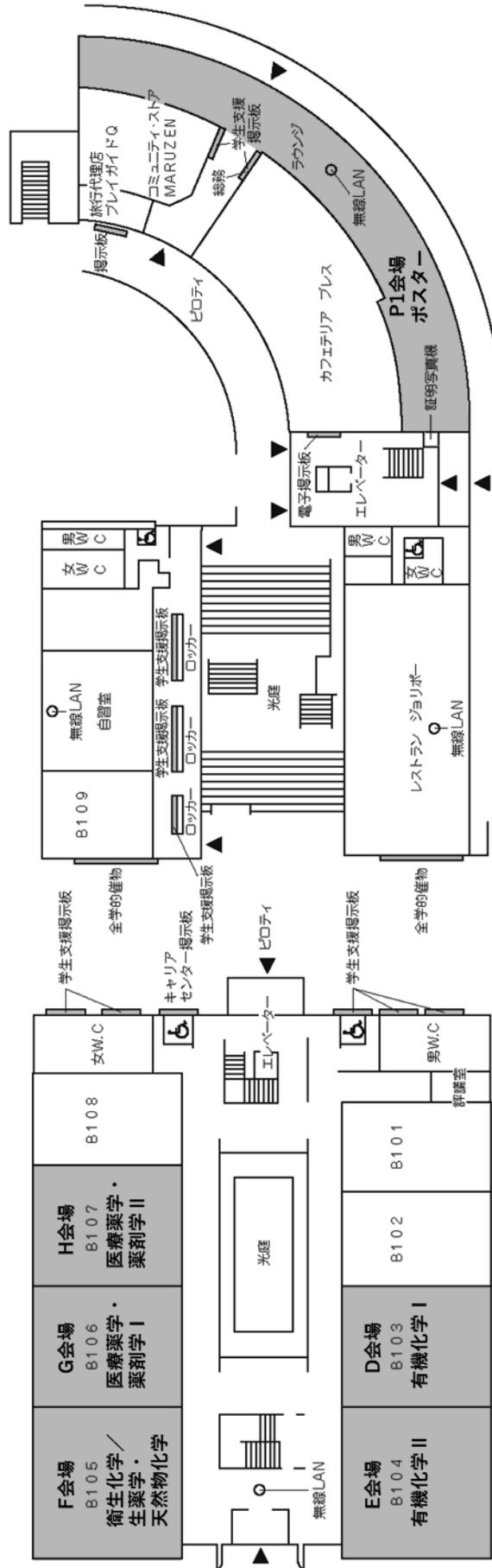


## ポートアイランド第1キャンパス (KPC1) 校舎配置図

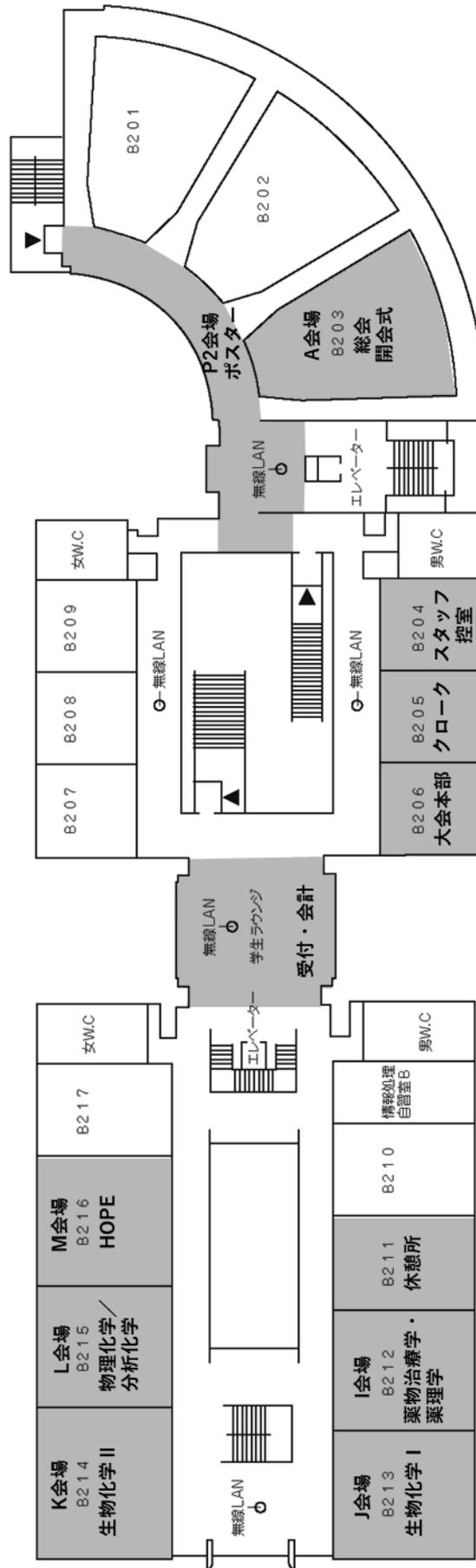


・学内の駐車場は、ご利用いただけません。近隣の駐車場または公共交通機関をご利用ください。

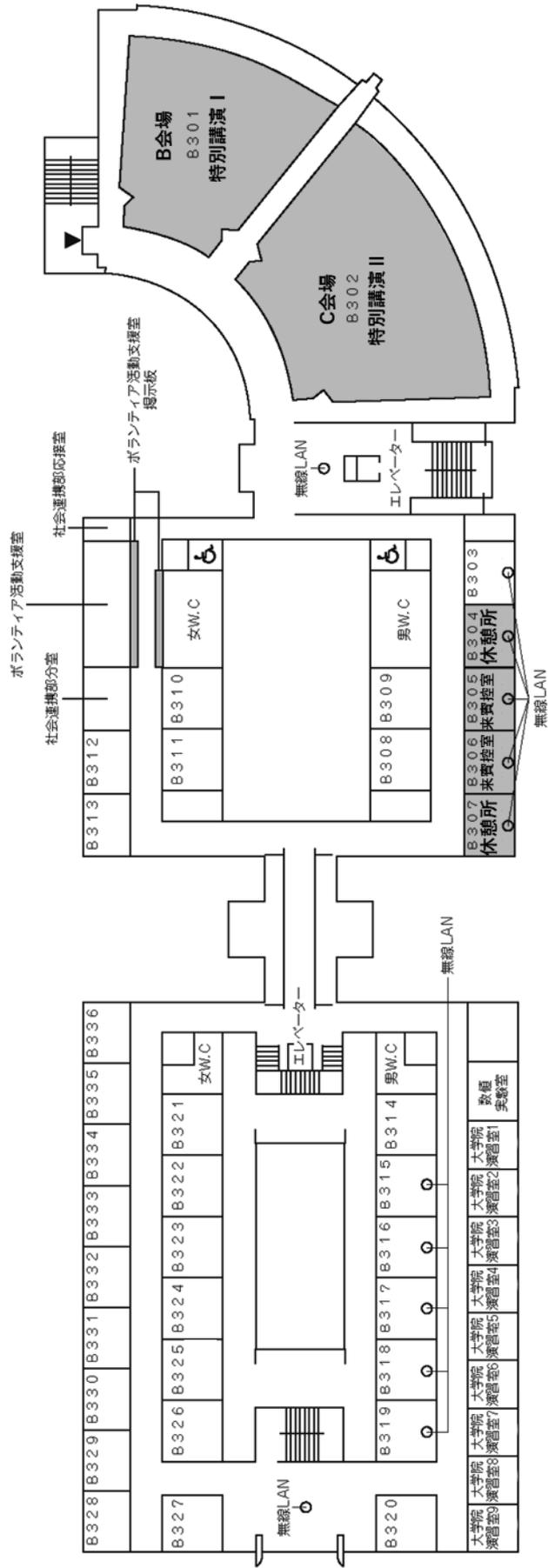
# B号館1階



# B号館2階



# B号館3階



## 第73回日本薬学会関西支部総会・大会 タイムテーブル

B号館								
会場名	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
	2階B203	3階B301	3階B302	1階B103	1階B104	1階B105	1階B106	1階B107
部会名	総会 開会式・閉会式	特別講演 I	特別講演 II	有機化学 I	有機化学 II	衛生化学/ 生薬学・ 天然物化学	医療薬学・ 薬剤学 I	医療薬学・ 薬剤学 II
9:00								
	総会							
10:00	9:45~10:15							
	開会式 10:20~10:30							
				有機化学 I	有機化学 II		医療薬学・ 薬剤学 I	医療薬学・ 薬剤学 II
11:00				10:40~11:40 D1~D5	10:40~11:40 E1~E5	衛生化学 11:04~11:40 F1~F3	10:40~11:40 G1~G5	10:40~11:40 H1~H5
12:00		特別講演 I 12:00~13:00 座長：国嶋崇隆 演者：大宮寛久	特別講演 II 12:00~13:00 座長：橋田 亨 演者：奥野恭史					
13:00				奨励賞受賞講演 化学系薬学 13:20~13:40			奨励賞受賞講演 医療系薬学1 13:20~13:40	奨励賞受賞講演 医療系薬学2 13:20~13:40
14:00				有機化学 I 14:00~16:00 D6~D15	有機化学 II 14:00~16:00 E6~E15	衛生化学 14:00~14:36 F4~F6	医療薬学・ 薬剤学 I 14:00~16:36 G6~G18	医療薬学・ 薬剤学 II 14:00~16:00 H6~H15
15:00						生薬学・ 天然物化学 14:48~15:24 F7~F9		
16:00								
17:00	閉会式 16:50~17:00							

B号館								
会場名	I会場	J会場	K会場	L会場	M会場	ポスター P 1会場	ポスター P 2会場	
	2階B212	2階B213	2階B214	2階B215	2階B216	1階プレス	2階廊下	
部会名	薬物治療学・ 薬理学	生物化学 I	生物化学 II	物理化学/ 分析化学	HOPE	生化/医療・薬剤/ 薬物・薬理/衛生	有機/分析/物化 生薬・天然	HOPE
9:00								
10:00								
11:00	薬物治療学・ 薬理学 10:52~11:40 I1~I4	生物化学 I	生物化学 II	物理化学	HOPE	ポスター貼付	ポスター貼付	ポスター貼付
		10:40~11:40 J1~J5	10:40~11:40 K1~K5	10:40~11:28 L1~L4	10:40~11:40 M1~M5	生化/医療・薬剤/ 薬物・薬理/衛生 10:30~12:00 P1-001~P1-174	有機/分析/物化 生薬・天然 10:30~12:00 P2-001~P2-103	HOPE 10:30~12:00 HP2-01~HP2-30
12:00								
13:00		奨励賞受賞講演 生物系薬学 13:20~13:40						
14:00	薬物治療学・ 薬理学 14:00~15:00 I5~I9	生物化学 I 14:00~16:12 J6~J16	生物化学 II 14:00~15:12 K6~K11	分析化学		ポスター示説	ポスター示説	ポスター示説
				14:00~14:36 L5~L7		生化/医療・薬剤/ 薬物・薬理/衛生 13:50~15:10 奇数番号 P1-001~P1-174	有機/分析/物化 生薬・天然 13:50~15:10 奇数番号 P2-001~P2-103	HOPE 13:50~15:10 奇数番号 HP2-01~HP2-30
15:00	薬物治療学・ 薬理学 15:12~16:12 I10~I14					ポスター示説	ポスター示説	ポスター示説
						生化/医療・薬剤/ 薬物・薬理/衛生 15:10~16:30 偶数番号 P1-001~P1-174	有機/分析/物化 生薬・天然 15:10~16:30 偶数番号 P2-001~P2-103	HOPE 15:10~16:30 偶数番号 HP2-01~HP2-30
16:00								
17:00						撤去		

## 第73回 日本薬学会関西支部総会・大会 プログラム

### 1. 支部総会 9:45～10:15 (A会場：B号館2階 B203)

#### 総会式次第

1. 組織委員会委員長挨拶
2. 支部長挨拶
3. 前年度・本年度事業報告ならびに次年度事業計画案審議
4. 前年度・本年度会計報告ならびに次年度予算案審議
5. 次年度支部役員選出
6. 次年度支部長挨拶
7. その他

### 2. 支部大会

#### 1) 特別講演 I (B会場：B号館3階 B301 12:00～13:00)

SL： ラジカルが拓く新触媒・新反応・新機能

(京都大学 化学研究所)

大宮 寛久

(座長) 国嶋 崇隆 (神戸学院大薬)

#### 特別講演 II (C会場：B号館3階 B302 12:00～13:00)

SL： DXで目指す創薬イノベーション

(京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 データ医科学分野  
理化学研究所 計算科学研究センター)

奥野 恭史

(座長) 橋田 亨 (神戸学院大薬)

特別講演はランチョンセミナー形式で行います。開始時刻前に、会場入り口にてお弁当をお受け取り下さい (万一不足の場合は御容赦下さい)。

なお、ジョリポーレストラン (B号館1階)、学生食堂シーガル (D号館1階)、コンビニ (B号館1階) が営業しています。

2) 令和4年度 日本薬学会関西支部奨励賞受賞講演 (13:20~13:40)

第1部門 (化学系薬学)

---

ジフルオロカルボン酸塩とジアリールヨードニウム塩との反応  
—ジフルオロメチレンユニット導入法の開発—

(立命館大学薬学部) 菊畠孝太郎

D会場 座長：袁 徳其 (神戸学院大薬)

第3部門 (生物系薬学)

---

パイロトーシスによる自然炎症とその制御：オルガネラを標的とする抗炎症薬の開発

(阪大院薬) 武村直紀

J会場 座長：鷹野 正興 (神戸学院大薬)

第4部門 (医療系薬学)

---

肝臓オルガノイド培養技術を用いた成熟肝細胞作製法の確立  
—創薬応用可能な新たな肝細胞モデル創出に向けた検討—

(阪大院薬) 植山 (鳥羽) 由希子

G会場 座長：武田 真莉子 (神戸学院大薬)

第4部門 (医療系薬学)

---

分子標的型抗がん薬による間質性肺疾患発症の分子機構に基づく予測法の開発

(神戸大病院薬) 山本 和宏

H会場 座長：岸本 修一 (神戸学院大薬)

3) 一般学術講演 (口頭発表)

部会	会場	時間 (午前)	時間 (午後)
有機化学部会 I	D	10:40~11:40	14:00~16:00
有機化学部会 II	E	10:40~11:40	14:00~16:00
衛生化学部会	F	11:04~11:40	14:00~14:36
生薬学・天然物化学部会	F		14:48~15:24
医療薬学・薬剤学部会 I	G	10:40~11:40	14:00~16:36
医療薬学・薬剤学部会 II	H	10:40~11:40	14:00~16:00
薬物治療学・薬理学部会	I	10:52~11:40	14:00~16:12
生物化学部会 I	J	10:40~11:40	14:00~16:12
生物化学部会 II	K	10:40~11:40	14:00~15:12
物理化学部会	L	10:40~11:28	
分析化学部会	L		14:00~14:36
HOPE	M	10:40~11:40	

5) 一般学術講演 (ポスター発表)

ポスター会場 P1 : B 号館 1 階ブレス

生物化学 / 医療薬学・薬剤学 / 薬物治療学・薬理学 / 衛生化学

ポスター会場 P2 : B 号館 2 階廊下

有機化学 / 分析化学 / 物理化学 / 生薬学・天然物化学 / HOPE

ポスター番号について

**P 1 - ○、P 2 - ○ ⇒ ポスター会場 - 演題番号**

	貼付時間	示説時間
【奇数番号】	10:30~12:00	13:50~15:10
【偶数番号】	10:30~12:00	15:10~16:30

\* ポスターは示説時間に関わらず 12:00~16:30 の間は掲示してください。

\* ポスターの掲示場所は、当日、ポスター会場受付にてご確認ください。

## 「在宅医療推進教育プログラム（HOPE）2023」について

日本薬学会関西支部では、2019年度より「在宅医療推進教育プログラム: HOPE (HOMe care Promotion Education program)」を開始いたしました。本プログラムは、実務実習前に学生が在宅医療の現場で学ぶことで、将来、地域医療の中核を担う薬剤師となるような学生を育成することを目的として、薬局と大学が連携して実施するものです。2023年度も、2022年度と同様、受け入れ協力薬局のご支援の下、実務実習に準じた新型コロナウイルス感染対策を講じて実施いたしました。この結果につきましては、2023年10月14日（土）開催の第73回日本薬学会関西支部総会・大会（神戸学院大学）にてポスター及び口頭で発表し、学会参加者に活動内容を報告いたします。なお、参加者及び協力薬局は以下のとおりです。関係各位におかれましては、多大なご支援・ご協力を賜り御礼申し上げます。

### 【参加者及び受け入れ薬局一覧】

薬局名	参加者名	所属	ポスター番号
まんてん薬局	清水 明風	近畿大薬	HP2-01
	宮西 沙知	武庫川女大薬	HP2-02
かえで薬局	村井 絵璃華	大阪医薬大薬	HP2-03
ABC 薬局 島本店	長谷 美咲	大阪医薬大薬	HP2-04
	新田 そよかぜ	大阪大薬	HP2-05
ぼうしや調剤薬局 田寺東店	米田 奈緒	大阪医薬大薬	HP2-06
	川口 将史	兵庫医大薬	HP2-07
カリン薬局	松平 葉奈	摂南大薬	HP2-08
	伊藤 今宵	大阪医薬大薬	HP2-09
	井上 まい	摂南大薬	HP2-10
	松川 知聖	大阪医薬大薬	HP2-11
	赤松 百華	大阪医薬大薬	HP2-12
マルゼン薬局 三国駅前店	上田 彩華	大阪医薬大薬	HP2-13
	森口 友貴	武庫川女大薬	HP2-14
	前川 ののか	武庫川女大薬	HP2-15
	渡辺 万祐子	武庫川女大薬	HP2-16
マルゼン薬局 京橋店	堂山 颯太	大阪医薬大薬	HP2-17
	田中 瑚子	大阪医薬大薬	HP2-18
マルゼン薬局 都島本通店	浅野 悠	大阪医薬大薬	HP2-19
あおぞら薬局	高橋 朋花	武庫川女大薬	HP2-20
	満田 眞衣	武庫川女大薬	HP2-21
サエラ薬局 牧野店	安西 栄人	摂南大薬	HP2-22
	日下 太樹	摂南大薬	HP2-23
	長崎 友咲	大阪医薬大薬	HP2-24
サエラ薬局 豊里店	西脇 伽弥	摂南大薬	HP2-25

サエラ薬局アリオ鳳店	水田 梨穂	大阪医薬大薬	HP2-26
サエラ薬局武庫之荘店	渡辺 乃愛	大阪医薬大薬	HP2-27
サエラ薬局芦屋店	安田 聖菜	兵庫医大薬	HP2-28
山田衛生堂薬局湊駅前店	藤井 李早	大阪大谷大薬	HP2-29
あしたば北野田薬局	藤岡 美馨	大阪大谷大薬	※
アサップ薬局	澤田 優果	大阪大谷大薬	HP2-30

※HOPE は今年度を実施し、来年度発表する予定。

**本プログラムにご協力いただいた薬局・店舗**：28 店舗（うち、上記 17 店舗において体験を実施）

**参加学生数**：大阪医薬大薬 13 名、大阪大谷大薬 3 名、大阪大 1 名、近畿大薬 1 名、

摂南大薬 5 名、兵庫医大薬 2 名、武庫川女大薬 6 名（以上 31 名）

## 座長一覧

### 特別講演

特別講演Ⅰ	12:00～13:00	B 会場 (3F-B301)	国嶋 崇隆 (神戸学院大薬)
特別講演Ⅱ	12:00～13:00	C 会場 (3F-B302)	橋田 亨 (神戸学院大薬)

### 令和4年度日本薬学会関西支部奨励賞受賞講演

第1部門 (化学系薬学)	13:20～13:40	D 会場 (1F-B103)	袁 徳其 (神戸学院大薬)
第3部門 (生物系薬学)	13:20～13:40	J 会場 (2F-B213)	鷹野 正興 (神戸学院大薬)
第4部門 (医療系薬学)	13:20～13:40	G 会場 (1F-B106)	武田真莉子 (神戸学院大薬)
	13:20～13:40	H 会場 (1F-B107)	岸本 修一 (神戸学院大薬)

### 有機化学Ⅰ (10:40～11:40、14:00～16:00)

D1～D5	(10:40～11:40)
D6～D10	(14:00～15:00)
D11～D15	(15:00～16:00)

### D 会場 (1F-B103)

土肥 寿文 (立命館大薬)
松岡 純平 (近畿大薬)
高須 清誠 (京大薬)

### 有機化学Ⅱ (10:40～11:40、14:00～16:00)

E1～E5	(10:40～11:40)
E6～E10	(14:00～15:00)
E11～E15	(15:00～16:00)

### E 会場 (1F-B104)

椿 一典 (京府大生命環境)
大石 真也 (京都薬大)
山田 健 (神戸薬大)

### 衛生化学 (11:04～11:40、14:00～14:36)

F1～F3	(11:04～11:40)
F4～F6	(14:00～14:36)

### F 会場 (1F-B105)

川崎 直人 (近畿大薬)
高山健太郎 (京都薬大)

### 生薬学・天然物化学 (14:48～15:24)

F7～F9	(14:48～15:24)
-------	---------------

### F 会場 (1F-B105)

中村 誠宏 (京都薬大)
--------------

### 医療薬学・薬剤学Ⅰ (10:40～11:40、14:00～16:36)

G1～D5	(10:40～11:40)
G6～G9	(14:00～14:48)
G10～G13	(14:48～15:36)
G14～G18	(15:36～16:36)

### G 会場 (1F-B106)

岩永 一範 (大阪医薬大薬)
樋口ゆり子 (京大薬)
東阪 和馬 (阪大院薬)
川瀬 篤史 (近畿大薬)

<b>医療薬学・薬剤学Ⅱ</b>	<b>(10:40～11:40、14:00～16:00)</b>	<b>H会場 (1F-B107)</b>
H1～H5	(10:40～11:40)	中瀬 朋夏 (武庫川女大薬)
H6～H10	(14:00～15:00)	森下 将輝 (京都薬大)
H11～H15	(15:00～16:00)	河野 裕允 (神戸薬大)
<b>薬物治療学・薬理学</b>	<b>(10:52～11:40、14:00～15:00、15:12～16:12)</b>	<b>I会場 (2F-B212)</b>
I1～I4	(10:52～11:40)	籠田 智美 (武庫川女大薬)
I5～I9	(14:00～15:00)	中村 一基 (武庫川女大薬)
I10～I14	(15:12～16:12)	奈邊 健 (摂南大薬)
<b>生物化学Ⅰ</b>	<b>(10:40～11:40、14:00～16:12)</b>	<b>J会場 (2F-B213)</b>
J1～J5	(10:40～11:40)	中山 隆志 (近畿大薬)
J6～J11	(14:00～15:12)	藤森 功 (大阪医薬大薬)
J12～J16	(15:12～16:12)	戸村 道夫 (大阪大谷大薬)
<b>生物化学Ⅱ</b>	<b>(10:40～11:40、14:00～15:12)</b>	<b>K会場 (2F-B214)</b>
K1～K5	(10:40～11:40)	中田 晋 (京都薬大)
K6～K11	(14:00～15:12)	福永理己郎 (大阪医薬大薬)
<b>物理化学</b>	<b>(10:40～11:28)</b>	<b>L会場 (2F-B215)</b>
L1～L4	(10:40～11:28)	佐野 紘平 (神戸薬大)
<b>分析化学</b>	<b>(14:00～14:36)</b>	<b>L会場 (2F-B215)</b>
L5～L7	(14:00～14:36)	木下 充弘 (近畿大薬)
<b>HOPE</b>	<b>(10:40～11:40)</b>	<b>M会場 (2F-B216)</b>
M1～M5	(10:40～11:40)	加藤 隆児 (大阪医薬大薬)
		浦嶋 庸子 (大阪大谷大薬)

## 協 賛 ・ 寄 附

第 73 回日本薬学会関西支部総会・大会の開催にあたり、下記の企業等からご援助を頂きました。  
ここに記し、御礼を申し上げます。

## 広 告

I & H株式会社

有限会社イトーヤク

有限会社かんまき薬局

クオール株式会社

株式会社シンキー

株式会社夏目製作所

株式会社ファーマプロダクト

薬学ゼミナール

和研薬株式会社

株式会社石井理化

大阪薬研株式会社

株式会社キリン堂

株式会社サンドラッグ

株式会社トーショー

浜理薬品工業株式会社

一般社団法人マナラボプラス

株式会社 REC

五十音順 敬称略

2023年9月12日現在

## 寄 附

天藤製薬株式会社

ナカライテスク株式会社

広瀬化学薬品株式会社

五十音順 敬称略

2023年9月12日現在

一般学術講演（口頭発表、D～M会場）

【有機化学部会 I】D会場

D1～D5（10:40～11:40）

座長：土肥 寿文（立命館大薬）

- D1 可視光レドックス触媒を用いた hetisine 型及び vakognavine 型アルカロイドの縮環ピロリジン骨格の構築  
（京大院薬）○黒田慈瑛、有地法人、井貫晋輔、大野浩章
- D2 光触媒を用いる 1,4-ジアリールブタジエンへの位置選択的付加反応の開発  
（神戸薬大）○平田 翼、池上あゆみ、古橋奈緒、柳内美咲、波多野学
- D3 金触媒を用いたアジドアルキンの連続環化反応による八員環縮環インドールの構築  
（京大院薬）○長谷川大輝、有地法人、井貫晋輔、大野浩章
- D4 ピリジン含有 D-A 型分子を用いた第二級臭化アルキル C-Br 結合の還元的開裂  
（京大院薬）加藤夏己、○関 悠汰、南條 毅、竹本佳司
- D5 銅アセチリド錯体によるアルケンの可視光異性化反応  
（神戸学院大薬）村上 遼、小島忠能、加茂諒也、○谷島寛人、稲垣冬彦

D6～D10（14:00～15:00）

座長：松岡 純平（近畿大薬）

- D6 プロピオール酸メチルを用いた新規極性転換反応の計算化学による機構解明  
（<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大産研）○赤澤龍之介<sup>1</sup>、鹿又喬平<sup>1</sup>、佐古 真<sup>1</sup>、赤井周司<sup>1</sup>、有澤光弘<sup>1</sup>、滝澤 忍<sup>2</sup>
- D7 ビナフチル型キラルボリン酸の触媒的不斉合成への応用  
—*meso*-1,2-ジオールの不斉非対称化におけるボリン酸の化学的安定性の評価—  
（阪大院薬）○近重雄大、村井健一、有澤光弘、佐古 真
- D8 縮環シクロブテンの 4 $\pi$  電子環状反応とラセミ化の速度論  
（京大院薬）高須清誠、○明野純也、黒田悠介、山岡庸介、瀧川 紘
- D9 反応場の分離によるリパーゼ・硫酸共触媒の動的速度論的光学分割  
—第三級アルコールへの適応—  
（阪大院薬）○金 澤昇、文 志勲、水野花鈴、赤井周司、鹿又喬平
- D10 *meso*-hydrobenzoin の不斉モノスルホニル化を経由した stilbene oxide の高エンアンチオ選択的合成  
（<sup>1</sup> 同志社女大院薬、<sup>2</sup> 同志社女大薬）○川崎みどり<sup>1</sup>、仲野晴音<sup>2</sup>、新本朱莉<sup>2</sup>、八塚研治<sup>2</sup>、白井隆一<sup>1</sup>

D11～D15（15:00～16:00）

座長：高須 清誠（京大薬）

- D11 Claisen 転位環化カスケードを介したイソフラボノイド天然物の収束的分岐合成  
（<sup>1</sup> 神戸大院農、<sup>2</sup> 東大院農生命）○姜 法雄<sup>1</sup>、内田裕一郎<sup>1</sup>、大江拓人<sup>1</sup>、清水夕稀<sup>1</sup>、滝川浩郷<sup>2</sup>
- D12 5 配位ケイ素中間体の環拡大反応を利用したジベンゾオキサシレピンの新規合成法の開発  
（<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大産研）、○渡邊慶悟<sup>1</sup>、松崎 剛<sup>2</sup>、鈴木健之<sup>2</sup>、佐古 真<sup>1</sup>、村井健一<sup>1</sup>、有澤光弘<sup>1</sup>

- D13 オルト位に官能基を有するフェニルシリルジアゾメタンの合成  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大薬、<sup>3</sup> 阪大産研) ○鶴田柊二<sup>1</sup>、齊藤圭吾<sup>2</sup>、松崎 剛<sup>3</sup>、鈴木健之<sup>3</sup>、佐古真<sup>1</sup>、有澤光弘<sup>1</sup>、村井健一<sup>1</sup>
- D14 超原子価ヨウ素反応剤を用いた芳香環アミノ化を鍵とするジベンゾオキサゼピノン合成  
(<sup>1</sup> 立命館大院薬、<sup>2</sup> 立命館大総研) ○濱谷将太郎<sup>1</sup>、佐々裕隆<sup>1</sup>、宮本直樹<sup>1</sup>、北 泰行<sup>2</sup>、土肥寿文<sup>1,2</sup>
- D15 環状ジケトン類のハロゲン化/メタルフリー炭素-炭素結合切断開環反応  
(<sup>1</sup> 立命館大薬、<sup>2</sup> 長浜バイオ大バイオ) ○宮尾優希<sup>1</sup>、知名秀泰<sup>2</sup>、要藤友佑<sup>1</sup>、佐々裕隆<sup>1</sup>、菊 島孝太郎<sup>1</sup>、土肥寿文<sup>1</sup>

## 【有機化学部会Ⅱ】E 会場

### E1～E5 (10:40～11:40)

座長：椿 一典 (京府大生命環境)

- E1 タンパク質分解誘導活性をもつペプチド化合物の創製を指向したステーブル化  
—一段階でのユビキチンリガーゼリガンド導入とステーブル化—  
(阪大産研) ○川浪紘明、高田悠里、山下泰信、伊藤幸裕、鈴木孝禎
- E2 ピロリジン環を基盤とするプロテアーゼ阻害剤設計と BACE1 阻害剤への展開  
(京都薬大) ○小林数也、川上夏輝、谷口智奈美、田中美咲、木村蘭希、小紫香穂、桑野 芽、池本菜由、服部恭尚、大石真也、赤路健一
- E3 *N*-トリエチレングリコール含有アルキル-3-チオフェンカルボキサミド誘導体の合成と膠芽腫  
に対する生物活性の評価  
(<sup>1</sup> 京都薬大、<sup>2</sup> 長崎国際大薬) ○大田海斗<sup>1</sup>、飯居宏美<sup>1</sup>、茂山千愛美<sup>1</sup>、安蔵翔太<sup>1</sup>、中田晋<sup>1</sup>、岩崎宏樹<sup>1</sup>、南部寿則<sup>1</sup>、小島直人<sup>2</sup>
- E4 DNA コード化ライブラリーへの応用を志向したクマリン-オリゴ核酸コンジュゲートの合成  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大先導) ○大澤昂志<sup>1</sup>、小比賀聡<sup>1,2</sup>
- E5 新規セレブロン (CRBN) リガンドの同定  
—ウリジンおよびウリジン誘導体の CRBN 結合活性評価—  
(阪大産研) ○安藤貴章、伊藤幸裕、高田悠里、山下泰信、鈴木孝禎

### E6～E10 (14:00～15:00)

座長：大石 真也 (京都薬大)

- E6 ペプチド鎖主鎖アミドの位置選択的 *N*-クロロ化法の開発  
(京大院薬) ○佐田ひかり、南條 毅、竹本佳司
- E7 非天然型ペプチドの分岐的合成を志向した *N*-クロロペプチドのフラグメント縮合  
(京大院薬) ○喜田魁斗、徳弘佑介、森山仁尊、南條 毅、竹本佳司
- E8 1'位と 3'位間をプロピレン架橋したアルトリートル核酸の新規合成法の開発  
(<sup>1</sup> 阪大薬、<sup>2</sup> 阪大院薬) ○吉村友希<sup>1</sup>、中村隆志<sup>2</sup>、山口卓男<sup>2</sup>、小比賀聡<sup>2</sup>
- E9 がん微小環境におけるがん細胞の適応応答を標的とする  $\beta$ -1,3,6-トリベンゾイルグルコース  
の開発  
(<sup>1</sup> 神戸薬大、<sup>2</sup> 東北大多元研) ○臼口和希<sup>1</sup>、高木 晃<sup>1</sup>、高嶋一平<sup>1,2</sup>、奥田健介<sup>1</sup>

E10 超原子価ヨウ素反応剤を用いたベンジルアルコール炭素-炭素結合切断開環反応  
(<sup>1</sup>立命館大薬、<sup>2</sup>長浜バイオ大バイオサイエンス) ○東山滉志<sup>1</sup>、知名秀泰<sup>2</sup>、中村武尊<sup>1</sup>、土肥寿文<sup>1</sup>

**E11～E15 (15:00～16:00) 座長：山田 健 (神戸薬大)**

E11 ピロガロール類の位置選択的な脱酸素フッ素化法の開発  
(阪大薬) ○大野真慧、Euis Maras Purwati、周 旺、鹿又喬平、赤井周司

E12 フェニルアセチレンを多数導入したビナフチル類の合成及び機能評価  
—ビナフチル誘導体における効果的な $\pi$ 系拡張—  
(<sup>1</sup>京府大院生命環境、<sup>2</sup>近大院総理工) ○酒井美里<sup>1</sup>、長屋勇輝<sup>1</sup>、藤尾晋哉<sup>1</sup>、岡田啓汰<sup>2</sup>、今吉亜由美<sup>1</sup>、今井喜胤<sup>2</sup>、椿 一典<sup>1</sup>

E13 ラダー型オリゴナフトフランの合成とその物性  
—新奇 $\pi$ 系拡張分子の合成とその物性の評価—  
(<sup>1</sup>京府大院生命環境、<sup>2</sup>東京理科大院理工) ○寺沢淳志<sup>1</sup>、太田芳裕<sup>1</sup>、吉近匠生<sup>1</sup>、辻 泰樹<sup>1</sup>、倉持幸司<sup>2</sup>、今吉亜由美<sup>1</sup>、椿 一典<sup>1</sup>

E14 生体内ポリアミンを検出する試薬の開発  
—フルオレセインを母核とする蛍光試薬の合成と評価—  
(京府大院生命環境) ○塚本彩花、長尾昌典、新ゆかり、今吉亜由美、椿 一典

E15 不均一系オキソバナジウム触媒による *p*-メトキシベンジルエーテルの脱保護とフロー反応への応用  
(阪大院薬) ○池田 黎、西尾幸也、伊藤佑太郎、鹿又恭平、赤井周司

## 【衛生化学部会】F会場

**F1～F3 (11:04～11:40) 座長：川崎 直人 (近畿大薬)**

F1 非晶質ナノシリカ粒子の胎盤透過性及び胎盤細胞取り込み評価  
(<sup>1</sup>阪大院薬、<sup>2</sup>阪大高等共創研、<sup>3</sup>阪大薬、<sup>4</sup>阪大 MEI セ、<sup>5</sup>阪大先導) ○小林純大<sup>1</sup>、東阪和馬<sup>1,2</sup>、謝 燕坤<sup>1</sup>、奥野和香子<sup>3</sup>、村中瑞希<sup>3</sup>、芳賀優弥<sup>1</sup>、堤 康央<sup>1,4,5</sup>

F2 カポジ肉腫関連ヘルペスウイルス ORF9 の機能解析  
(京都薬大) ○鹿井遥花、祝迫佑紀、藤室雅弘

F3 時期特異的遺伝子欠損マウスを用いた骨軟骨形成におけるビタミンK変換酵素UBIAD1の機能解析  
(<sup>1</sup>神戸学院大院薬、<sup>2</sup>神戸学院大薬) ○平島俊亮<sup>1</sup>、清岡恭乃<sup>2</sup>、中川公恵<sup>1,2</sup>

**F4～F6 (14:00～14:36) 座長：高山健太郎 (京都薬大)**

F4 細粒化カリウム型ゼオライトの創製と鉛イオン吸着能に関する基礎的検討  
(近畿大薬) ○三津野真緒、緒方文彦、小林悠平、大竹裕子、長井紀章、川崎直人

F5 免疫受容体によるカーボンナノ材料の認識機構  
(立命館大薬) ○伊橋一花、山口慎一郎、黒岩美希、中山勝文

F6 疑似的低酸素状態における分泌型ムチン MUC2 の発現制御機構の解明  
(<sup>1</sup>姫路獨協大薬、<sup>2</sup>摂南大薬) ○海堀祐一郎<sup>1,2</sup>、山岸伸行<sup>2</sup>、長久保大輔<sup>1</sup>

## 【生薬学・天然物化学部会】F 会場

F7～F9 (14:48～15:24)

座長：中村 誠宏 (京都薬大)

- F7 *ent*-Kaurane 型ジテルペノイド *enmein* の NO 産生抑制活性における作用機序の解明および標的分子の同定  
(<sup>1</sup>近畿大薬総研、<sup>2</sup>アンチエイジングセ) ○山田さくら<sup>1</sup>、萬瀬貴昭<sup>1</sup>、隅田昂太<sup>1</sup>、坂本裕介<sup>1</sup>、森川敏生<sup>1,2</sup>
- F8 ブラジル天然薬物 *andiroba* (*Carapa guianensis*) 由来リモノイドのメラニン産生抑制作用およびその構造活性相関  
(<sup>1</sup>近畿大薬総研、<sup>2</sup>アンチエイジングセ) ○渡邊秀太<sup>1</sup>、萬瀬貴昭<sup>1</sup>、長友暁史<sup>1</sup>、森川敏生<sup>1,2</sup>
- F9 イラン天然薬物 *Ferula ammoniacum* の新規セスキテルペンクマリンの化学構造  
(<sup>1</sup>近畿大薬総研、<sup>2</sup>アンチエイジングセ、<sup>3</sup>Shiraz 大) ○萬瀬貴昭<sup>1</sup>、Raouf Fard Fatemeh<sup>3</sup>、関戸楓華<sup>1</sup>、中井夏花<sup>1</sup>、村岡 修<sup>1,2</sup>、森川敏生<sup>1,2</sup>

## 【医療薬学・薬剤学部会 I】G 会場

G1～G5 (10:40～11:40)

座長：岩永 一範 (大阪医薬大薬)

- G1 セラミド製剤のがん個別化医療への応用  
—トリプルネガティブ乳がんの克服に向けて—  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>東北大医、<sup>3</sup>University of Virginia) ○小木曾悠里<sup>1</sup>、大矢有希<sup>1</sup>、三木康宏<sup>2</sup>、Todd E. Fox<sup>3</sup>、Kester Mark<sup>3</sup>、松田将也<sup>1</sup>、奈邊 健<sup>1</sup>、北谷和之<sup>1</sup>
- G2 2型糖尿病患者における sodium-glucose cotransporter 2 阻害薬と膵がんとの関連性  
—大規模レセプトデータを用いた解析—  
(近畿大薬) ○田中侑希、横山 聡、宇野貴哉、細見光一
- G3 関節リウマチ患者の生物学的製剤の処方変更とステロイド処方の関連性の調査  
—保険者データベースを用いた nested case-control study—  
(近畿大薬) ○山口亮子、中川千拓、宇野貴哉、横山 聡、細見光一
- G4 医薬品による遅発性下部消化管傷害の網羅的なリスク解析  
(立命館大院薬) ○野田歩美、小川慶子、細木るみこ
- G5 2016年度から2020年度におけるNDBオープンデータを用いた日本における睡眠薬の使用状況の評価  
(京都薬大) ○松谷幸一郎、冢瀬 諒、水野香菜子、後藤良太、村木優一

G6～G9 (14:00～14:48)

座長：樋口ゆり子 (京都大薬)

- G6 ストレス応答に着目した薬剤抵抗性非小細胞肺癌細胞の生存機構解明  
(<sup>1</sup>阪大院薬、<sup>2</sup>阪大薬、<sup>3</sup>阪大高等共創研、<sup>4</sup>阪大 MEI セ、<sup>5</sup>阪大先導) ○西村哲秀<sup>1</sup>、芳賀優弥<sup>1</sup>、周 末<sup>1</sup>、棚橋涼乃<sup>2</sup>、東阪和馬<sup>1,3</sup>、堤 康央<sup>1,4,5</sup>
- G7 細胞周期に着目した薬剤抵抗性非小細胞肺癌細胞の機序解明  
(<sup>1</sup>阪大院薬、<sup>2</sup>阪大薬、<sup>3</sup>阪大高等共創研、<sup>4</sup>阪大 MEI セ、<sup>5</sup>阪大先導) ○周 末<sup>1</sup>、芳賀優弥<sup>1</sup>、西村哲秀<sup>1</sup>、棚橋涼乃<sup>2</sup>、東阪和馬<sup>1,3</sup>、堤 康央<sup>1,4,5</sup>

G8 特定波長の紫外線 B 波による抗動脈硬化作用  
—動脈硬化モデルアポリポ蛋白 E 遺伝子欠損マウスを用いた解析—  
(<sup>1</sup>神戸薬大、<sup>2</sup>神戸大院医) ○伊藤 謙<sup>1</sup>、佐々木直人<sup>1</sup>、田中 亨<sup>1</sup>、AgaKrisnanda<sup>1</sup>、堀部紗世<sup>1</sup>、平田健一<sup>2</sup>、力武良行<sup>1</sup>

G9 ヒト凍結肝細胞を用いた短期間で毛細胆管を形成する培養法の確立  
(<sup>1</sup>和歌山県立医大薬、<sup>2</sup>名市大院薬) ○堺 陽子<sup>1</sup>、岩尾岳洋<sup>2</sup>、松永民秀<sup>2</sup>、長田茂宏<sup>1</sup>

**G10～G13 (14:48～15:36) 座長：東阪 和馬 (阪大院薬)**

G10 Mpox ウイルス 2022 年アウトブレイク株の性状解析  
—ウイルス蛋白質およびプロモーターの機能解析—  
(<sup>1</sup>京大 iPS 研、<sup>2</sup>東大医科研) ○仲田吉孝<sup>1</sup>、渡邊幸夫<sup>1</sup>、木村出海<sup>2</sup>、橋本里菜<sup>1</sup>、山本拓也<sup>1</sup>、G2P-Japan Consortium、佐藤 佳<sup>2</sup>、高山和雄<sup>1</sup>

G11 新型コロナウイルス BF.5 株持続感染患者におけるウイルスゲノム解析  
—次期流行株の早期予測の可能性の検討—  
(<sup>1</sup>京大 iPS 研、<sup>2</sup>京大院医、<sup>3</sup>東大医科研) ○二ツ迫拓樹<sup>1</sup>、橋本里菜<sup>1</sup>、山本正樹<sup>2</sup>、伊東潤平<sup>3</sup>、松村康史<sup>2</sup>、G2P-Japan コンソーシアム、佐藤 佳<sup>3</sup>、長尾美紀<sup>2</sup>、高山和雄<sup>1</sup>

G12 Cas12a の細胞内局在がタンパク質安定性とゲノム編集効率に及ぼす影響  
(<sup>1</sup>阪大院薬、<sup>2</sup>阪大薬、<sup>3</sup>医薬健栄研、<sup>4</sup>阪大 MEI セ、<sup>5</sup>阪大先導、<sup>6</sup>阪大 CiDER) ○塚本智仁<sup>1,2</sup>、水田陽菜<sup>2</sup>、酒井英子<sup>1</sup>、櫻井文教<sup>1,2</sup>、中川晋作<sup>1,2,4</sup>、水口裕之<sup>1,2,3,4,5,6</sup>

G13 ゲノム編集技術を用いた創薬研究に応用可能な腸管上皮細胞モデルの作製  
—CYP3A4、UGT1A1、CES 代謝を評価可能な Caco-2 細胞—  
(立命館大薬) ○根来亮介、藤田卓也

**G14～G18 (15:36～16:36) 座長：川瀬 篤史 (近畿大薬)**

G14 イオン輸送体を介した難治性乳がん進展の機序解明と新治療戦略  
(<sup>1</sup>武庫川女大薬、<sup>2</sup>阪公大理、<sup>3</sup>武庫川女大バイオ研、) 中田万理香<sup>1</sup>、的場朱里<sup>1</sup>、丸橋真衣<sup>1</sup>、湯谷玲子<sup>1</sup>、松井千紘<sup>1</sup>、大村美香<sup>2</sup>、中瀬生彦<sup>2</sup>、○中瀬朋夏<sup>1,3</sup>

G15 亜鉛を利用した乳がん治療薬 Tamoxifen の抗がん活性制御  
(<sup>1</sup>武庫川女大薬、<sup>2</sup>武庫川女大バイオ) ○崎谷愛未<sup>1</sup>、小西未来<sup>1</sup>、山本有紗<sup>1</sup>、松田紗英<sup>1</sup>、山本花那子<sup>1</sup>、中瀬朋夏<sup>1,2</sup>

G16 2-(piperazin-1-yl)naphtho[2,3-d]thiazole-4,9-dione の抗菌メカニズムに関する研究  
(<sup>1</sup>武庫川女大薬、<sup>2</sup>武庫川女大女研、<sup>3</sup>大阪産技研) ○原口珠実<sup>1,2</sup>、宇野莉央<sup>1</sup>、畠中芳郎<sup>3</sup>、永尾寿浩<sup>3</sup>、田中重光<sup>3</sup>、吉井未貴<sup>3</sup>、高田慎也<sup>1</sup>、原 史子<sup>1</sup>、萩森政頼<sup>1</sup>、吉田 都<sup>1,2</sup>

G17 抗菌オリゴペプチド CKR-13 の緑膿菌に対する抗菌活性およびバイオフィーム形成阻害作用の検討  
(武庫川女大薬<sup>1</sup>、武庫川女大女研<sup>2</sup>、大阪産技研<sup>3</sup>) ○吉田 都<sup>1,2</sup>、原口珠実<sup>1,2</sup>、宇野莉央<sup>1</sup>、畠中芳郎<sup>3</sup>、田中重光<sup>3</sup>、吉井未貴<sup>3</sup>、永尾寿浩<sup>3</sup>

G18 デジタル技術を駆使した外用製剤の処方設計  
(マルホ) ○馬場廣海、岩崎航太郎

## 【医療薬学・薬剤学部会Ⅱ】H会場

H1～H5 (10:40～11:40)

座長：中瀬 朋夏 (武庫川女大薬)

- H1 NanoGAS<sup>®</sup> (Nanobubble) 水によるインスリン経口吸収促進作用の評価  
—臨床への応用を想定したインスリン経口製剤との併用効果—  
(<sup>1</sup>神戸学院大薬、<sup>2</sup>シンバイオシス株式会社、<sup>3</sup>三生医薬株式会社) ○村瀬諒祐<sup>1</sup>、吉田 愛<sup>1</sup>、笠原吉晴<sup>1</sup>、峯田三寿々<sup>3</sup>、大川原正喜<sup>3</sup>、清水 真<sup>2</sup>、森下理咲子<sup>1,2</sup>、亀井敬泰<sup>1</sup>、武田真莉子<sup>1</sup>
- H2 ユニオーブ<sup>®</sup> 技術を活用した新規インスリン経口製剤の開発研究  
—食後高血糖抑制に適した処方設計と有用性評価—  
(<sup>1</sup>神戸学院大薬、<sup>2</sup>三生医薬) ○松平正輝<sup>1</sup>、内海宏美<sup>1</sup>、森 美賢<sup>1</sup>、川谷優佳<sup>1</sup>、若生みどり<sup>1</sup>、森下理咲子<sup>1</sup>、尾上優誠<sup>1</sup>、加藤 修<sup>1</sup>、峯田三寿々<sup>2</sup>、大川原正喜<sup>2</sup>、亀井敬泰<sup>1</sup>、武田真莉子<sup>1</sup>
- H3 初回通過効果の寄与率を考慮した生理学的薬物速度論(PBPK)モデル解析による薬物相互作用の定量的予測  
(<sup>1</sup>兵庫医大院薬、<sup>2</sup>兵庫医科大薬、<sup>3</sup>市立ひらかた病院薬) ○吉年 勉<sup>1,3</sup>、栄井修平<sup>2</sup>、梅永真弓<sup>3</sup>、藤野秀樹<sup>1,2</sup>
- H4 安息香酸系薬物のアシルグルクロン酸抱合体のヒト肝ミクロソーム中における加水分解に与える置換基の影響  
(近畿大薬) ○橋本 悠、島田紘明、川瀬篤史
- H5 肝ミクロソーム中におけるアシルグルクロン酸抱合体の加水分解と特異体質性薬物毒性リスク  
(近畿大薬) ○島田紘明、生田博之、橋 本悠、川瀬篤史

H6～H10 (14:00～15:00)

座長：森下 将輝 (京都薬大)

- H6 がん指向型薬物キャリアとしてのリポソーム搭載マクロファージの作製とその機能評価  
(神戸薬大) ○大西可恵、河野裕允、細川美香、大河原賢一
- H7 腫瘍選択的な抗がん剤送達を目指した磁性リポソームの作製  
(神戸薬大) ○岡田玲央、河野裕允、田中萌々音、細川美香、大河原賢一
- H8 Span85 ニオソームによる PTX 内封モノグリセリドニオソームからの放出トリガリング  
(神戸薬大) ○岩崎裕加、野田海渡、河野裕允、細川美香、大河原賢一
- H9 ヒト脂肪幹細胞馴化培地によるドキシソルピシン誘発細胞障害に対する保護効果  
(大阪医薬大) ○藤原祥史、小島祐輝、満屋 領、竹林裕美子、本橋秀之、永井純也
- H10 炎症性腸疾患モデルマウスにおける低亜鉛血症の腸透過性への影響  
(京大院薬) ○竹内美優、津田真弘、坂元瑞理、宗可奈子、樋口ゆり子、山下富義

H11～H15 (15:00～16:00)

座長：河野 裕允 (神戸薬大)

- H11 腎臓虚血再灌流時におけるセリン修飾高分子キャリアの腎臓移行性と抗酸化剤の腎臓ターゲティングによる腎臓障害抑制効果  
(京都薬大) ○安富彰一龍、勝見英正、木村 葉、辰己日向子、松浦 悟、森下将輝、山本 昌

- H12 ヒアルロン酸ゲルシートを用いた骨粗鬆症治療薬アレンドロネートの経皮送達  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>神戸薬大、<sup>3</sup>リタファーマ) ○手嶋 遥<sup>1</sup>、勝見英正<sup>1</sup>、青木梨央<sup>1</sup>、岡田茉莉<sup>1</sup>、  
米山秋穂<sup>1</sup>、佐伯美沙<sup>1</sup>、森下将輝<sup>1</sup>、田中晶子<sup>1,2</sup>、古林呂之<sup>2</sup>、米戸邦夫<sup>1,3</sup>、坂根稔康<sup>2</sup>、  
山本 昌<sup>1</sup>
- H13 TNBC 細胞遊走機序と膜透過性ペプチドによる薬物送達への応用  
—血清濃度が細胞遊走能と細胞内取り込みに及ぼす影響—  
(<sup>1</sup>阪公大院理、<sup>2</sup>理研白眉、<sup>3</sup>武庫女大薬、<sup>4</sup>武庫女大バイオ研) ○荒木優里奈<sup>1</sup>、萩原将也<sup>2</sup>、  
藤原大佑<sup>1</sup>、道上雅孝<sup>1</sup>、藤井郁雄<sup>1</sup>、中瀬朋夏<sup>3,4</sup>、中瀬生彦<sup>1</sup>
- H14 免疫活性化能の高い酵母由来細胞外小胞を獲得可能な酵母培養条件の確立  
(京都薬大) ○丸岡健人、森下将輝、永田凌雅、佐々木将太、和田空莉、中川美咲、野口詩織、  
勝見英正、山本 昌、異島 優
- H15 マクロファージ条件培地および小型細胞外小胞による MDR1 発現変動  
(近畿大薬) ○WOO YUNSIK、高井柚希、島田紘明、川瀬篤史

## 【薬物治療学・薬理学部会】I 会場

11～14 (10:52～11:40)

座長：籠田 智美 (武庫川女大薬)

- 11 ブラジキニンブロックアウトマウスに見られた高血圧とその機序の探索  
(<sup>1</sup>神戸学院大院薬、<sup>2</sup>放医研、<sup>3</sup>神戸学院大薬) ○大中佑介<sup>1</sup>、塚本智史<sup>2</sup>、前倉孝治<sup>3</sup>、岩井優  
奈<sup>3</sup>、刈谷龍昇<sup>3</sup>、屋山勝俊<sup>1,3</sup>、鷹野正興<sup>1,3</sup>
- 12 桂枝加苓朮附湯の関節炎改善作用と関節組織におけるヒアルロン酸産生促進作用  
(小林製薬中研) ○松下哲也、萩野 輝、上杉晴香、赤木淳二
- 13 アセトアミノフェン誘発性肝障害に対する 15-PGDH 阻害の影響  
(近畿大薬) ○高田万桜、島田紘明、横飛暉斗、山本望乃花、川瀬篤史
- 14 報酬および嫌悪情報処理における正中縫線核セロトニン神経の役割  
(<sup>1</sup>京大院薬、<sup>2</sup>阪公大院医、<sup>3</sup>北大院医) ○河合洋幸<sup>1,2</sup>、Youcef Bouchekioua<sup>3</sup>、西谷直也<sup>1</sup>、白  
川久志<sup>1</sup>、永安一樹<sup>1</sup>、大村 優<sup>3</sup>、近藤 誠<sup>2</sup>、吉岡充弘<sup>3</sup>、金子周司<sup>1</sup>

15～19 (14:00～15:00)

座長：中村 一基 (武庫川女大薬)

- 15 幼若期にクラリスロマイシンを投与したマウスの腸管バリア機能の解析  
—腸内細菌の腸上皮侵入につながる回腸上皮の免疫抑制—  
(摂南大薬) ○荒木良太、竹本羽那、村田彩綺、平川泰佑、新見那奈、稲永美乃里、尾崎清和、  
松尾京香、松田将也、奈邊 健、喜多絢海、矢部武士
- 16 ヒト iPS 細胞由来腸管オルガノイド単層膜を用いた薬剤性消化管障害の予測  
(<sup>1</sup>阪大薬、<sup>2</sup>阪大院薬、<sup>3</sup>医薬健栄研、<sup>4</sup>阪大 MEI セ、<sup>5</sup>阪大先導) ○浦谷悠生<sup>1</sup>、乾 達也<sup>2,3</sup>、  
横田純平<sup>2,3</sup>、植山(鳥羽)由希子<sup>1,2,3,5</sup>、水口裕之<sup>1,2,3,4,5</sup>
- 17 Oxaliplatin 誘起末梢神経障害への血小板由来 HMGB1 および補体 C5a/C5aR 系の関与について  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>岡山大院医歯薬) ○関千咲斗<sup>1</sup>、岸本彩野<sup>1</sup>、堂本莉紗<sup>1</sup>、圓尾賢悟<sup>1</sup>、田島和樹<sup>1</sup>、  
松永浩明<sup>1</sup>、松本亜紗菜<sup>1</sup>、坪田真帆<sup>1</sup>、関口富美子<sup>1</sup>、友野靖子<sup>2</sup>、西堀正洋<sup>2</sup>、川畑篤史<sup>1</sup>
- 18 Perifosine による PIK3CA 変異大腸がんでの 5-FU 及び oxaliplatin 殺細胞作用増強効果  
(近畿大薬) ○竹藤帆花、椿 正寛、武田朋也、滝本航大、西田升三

- 19 Statins による KRAS 変異型大腸がんでのオキサリプラチン抗腫瘍作用増強効果  
(近畿大薬) ○滝本航大、椿 正寛、武田朋也、竹藤帆花、田中滯美、西田升三

**I10~I14 (15:12~16:12)**

座長：奈邊 健 (摂南大薬)

- I10 Sorafenib による c-Kit 活性化悪性黒色腫での腫瘍増殖および転移抑制、延命効果  
(近畿大薬) ○田中滯美、竹藤帆花、椿 正寛、武田朋也、滝本航大、西田升三
- I11 抗がん剤候補化合物 ACA-28 による細胞死誘導機構と小胞体ストレス応答経路の関わり  
—骨肉腫由来細胞株を用いて—  
(近畿大薬) ○河合瑛美、高崎輝恒、上山紗依、上野七海、佐藤亮介、杉浦麗子
- I12 新規抗がん剤シース ACA-28 の ERK 依存的細胞死誘導機構の解析  
—CRM1 依存的核外輸送レポーターPap1 を用いた核外輸送阻害活性の評価—  
(近畿大薬) ○尾花玲緒、高崎輝恒、冨本尚史、佐藤亮介、杉浦麗子
- I13 新規抗がん剤候補化合物 ACAGT-007a による細胞死誘導への BRAT1 の関与  
(近畿大薬) ○田中達也、佐藤亮介、高崎輝恒、杉浦麗子
- I14 酸化ストレス応答を標的とした抗がん剤耐性獲得機構の解明  
(武庫川女大薬) ○生寫千菜美、吉川紀子、中村美弥、籠田智美、篠塚和正、中村一基

**【生物化学部会 I】J 会場**

**J1~J5 (10:40~11:40)**

座長：中山 隆志 (近畿大薬)

- J1 ポリスチレンナノ粒子は貪食非依存的に細胞死と IL-1 $\alpha$  の放出を誘導する  
(<sup>1</sup> 阪大薬、<sup>2</sup> 阪大院薬、<sup>3</sup> 阪大 MEI セ、<sup>4</sup> 阪大 CiDER) ○難波龍之<sup>1</sup>、齋しおり<sup>1</sup>、武村直紀<sup>2</sup>、  
齊藤達哉<sup>2,3,4</sup>
- J2 ノンカノニカルインフラマソームを抑制するプロスタグランジン類の解析  
(阪大院薬) ○西田周平、武村直紀、高濱充寛、齊藤達哉
- J3 高効率なウイルス産生が可能なヒト 35 型腫瘍溶解性アデノウイルスの開発  
—E1 および E4 遺伝子を改変したヒト 35 型腫瘍溶解性アデノウイルスの開発—  
(<sup>1</sup> 阪大薬、<sup>2</sup> 阪大院薬、<sup>3</sup> 医薬健栄研、<sup>4</sup> 阪大 MEI セ、<sup>5</sup> 阪大先導、<sup>6</sup> 阪大 CiDER) ○林 美佑<sup>1</sup>、  
小野良輔<sup>2</sup>、立花雅史<sup>2</sup>、櫻井文教<sup>1,2</sup>、水口裕之<sup>1,2,3,4,5,6</sup>
- J4 ミトコンドリア因子 MAIP1 の成体肝臓特異的欠損は脂質蓄積を誘導する  
(<sup>1</sup> 阪大薬、<sup>2</sup> 阪大院薬、<sup>3</sup> 医薬健栄研、<sup>4</sup> 阪大 MEI セ、<sup>5</sup> 阪大先導、<sup>6</sup> 阪大 CiDER) ○荒居千遥<sup>1</sup>、  
酒井英子<sup>1,2,3</sup>、Marcos Taracena-Gandara<sup>2</sup>、増田有香<sup>2</sup>、櫻井文教<sup>1,2,3</sup>、水口裕之<sup>1,2,3,4,5,6</sup>
- J5 RNA 修飾の配列選択的な制御法の開発  
—ALKBH5 を用いたオフターゲット低減型脱メチル化酵素の創製—  
(京大院薬) ○浅見有璃、音成兼光、今西未来、二木史朗

**J6~J11 (14:00~15:12)**

座長：藤森 功 (大阪医薬大薬)

- J6 ヒト iPS 細胞由来肝細胞オルガノイドに凍結保存が与える影響  
—凍結保存したヒト iPS 細胞由来肝細胞オルガノイドの機能解析—  
(<sup>1</sup> 阪大薬、<sup>2</sup> 阪大院薬、<sup>3</sup> 医薬健栄研、<sup>4</sup> 阪大先導、<sup>5</sup> 阪大 MEI セ、<sup>6</sup> 阪大 CiDER) ○永井 和奏<sup>1</sup>、  
乾 純平<sup>2</sup>、植山(鳥羽)由希子<sup>1,2,3,4</sup>、水口 裕之<sup>1,2,3,4,5,6</sup>

- J7 ヒト iPS 細胞由来腸管オルガノイド単層膜を用いた腸管感染性アデノウイルスの感染動態解析  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 医薬健康研、<sup>3</sup> 阪大 MEI セ、<sup>4</sup> 阪大先導、<sup>5</sup> 阪大 CiDER) ○荒田美悠<sup>1</sup>、横田純平<sup>1,2</sup>、永田直哉<sup>1</sup>、乾 達也<sup>1,2</sup>、塚本智仁<sup>1</sup>、櫻井文教<sup>1</sup>、水口裕之<sup>1,2,3,4,5</sup>
- J8 L-Theanine の摂取がマウス膵臓に対するインスリン分泌および膵島組織に及ぼす影響  
(<sup>1</sup> 摂南大薬、<sup>2</sup> 岐阜薬大、<sup>3</sup> 大和大保) ○山浦慎之介<sup>1</sup>、貞盛耕生<sup>2</sup>、金城俊彦<sup>1</sup>、宇野恭介<sup>1</sup>、小西麗子<sup>1</sup>、眞島 崇<sup>3</sup>、向井 啓<sup>1</sup>、倉本展行<sup>1</sup>、河田 興<sup>1</sup>、小森浩二<sup>1</sup>
- J9 脳室線毛運動を活性化する因子の探索  
—アデノシンは脳室線毛運動を活性化する—  
(立命館大薬) ○辻 涼香、LIU Yixin、平尾拓也、川口高德、浅野真司
- J10 ドキソルビン投与に伴ったマウス甘味感受性変動に関する研究  
(京都薬大) ○茂木啓佑、東 実咲、岩城汐里、吉岡千咲、森戸克弥、高山健太郎、長澤一樹
- J11 コンドロイチン硫酸-E の神経突起伸長作用に関与する新たな受容体分子の同定  
(神戸薬大) ○久保坂沙彩、徳田夏月、山下樹生、志田美香、三上雅久、北川裕之

#### J12～J16 (15:12～16:12)

座長：戸村 道夫 (大阪大谷大薬)

- J12 脱 SUMO 化酵素 DES1I のノックダウンによる細胞分裂への影響  
(京都薬大) ○池田有紀、中山祐治
- J13 ベンゾピレン誘導性細胞老化の分子機序解明およびがん悪性転化への影響解析  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大高等共創研、<sup>3</sup> 阪大 MEI セ、<sup>4</sup> 阪大先導) ○北本夏子<sup>1</sup>、芳賀優弥<sup>1</sup>、辻井勇氣<sup>1</sup>、東阪和馬<sup>1,2</sup>、堤 康央<sup>1,3,4</sup>
- J14 肝細胞がんにおける ABAT の役割解明  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大薬、<sup>3</sup> 阪大高等共創、<sup>4</sup> 阪大 MEI セ、<sup>5</sup> 阪大先導) ○辻井勇氣<sup>1</sup>、芳賀優弥<sup>1</sup>、北本夏子<sup>1</sup>、久保美南海<sup>2</sup>、東阪和馬<sup>1,3</sup>、堤 康央<sup>1,4,5</sup>
- J15 遺伝子改変マウスを用いた潰瘍性大腸炎における CGRP の機能解析  
—CGRP が司る潰瘍性大腸炎の炎症メカニズムの解析—  
(阪大院薬) ○芝尾達八、溝上広大、神宮司健太郎、長谷拓明、辻川和丈
- J16 腎癌におけるアクネ菌由来細胞外小胞の病的意義の解明  
—アクネ菌由来細胞外小胞が腎癌腫瘍に与える影響の評価—  
(阪大院薬) ○大林竜也、神宮司健太郎、谷川清香、辻川和丈

#### 【生物化学部会Ⅱ】K 会場

##### K1～K5 (10:40～11:40)

座長：中田 晋 (京都薬大)

- K1 免疫チェックポイント阻害剤の治療効果を予測する代謝物バイオマーカー探索  
—非小細胞肺癌患者血清の解析によるバイオマーカー候補の選定—  
(阪大院薬) ○田代敦也、神宮司健太郎、長谷拓明、辻川和丈
- K2 修飾ヌクレオシドに着目した、がん特徴的な細胞間コミュニケーションの検討  
—修飾ヌクレオシドの作用解析—  
(阪大院薬) ○倉山亮典、吉岡拓海、芝尾達八、田代敦也、宮崎陽平、溝上広大、上田裕子、北惠郁緒里、神宮司健太郎、長谷拓明、辻川和丈

- K3 肥満によるエストロゲン受容体陽性乳癌のホルモン療法耐性獲得機構の解明  
(大阪医薬大薬) ○中辻匡俊、藤森 功
- K4 炎症応答におけるストレス応答プロテインキナーゼ (SAPK) ファミリーの機能  
—ヒト単球系細胞株 THP-1 の多重遺伝子ノックアウト細胞を用いた解析—  
(大阪医薬大薬) ○富田美月、佐藤太一、藤井 忍、藤井俊裕、伊藤千紘、福永理己郎
- K5 Jun/Fos ファミリー遺伝子の多重ノックアウト HeLa 細胞を用いた AP-1 標的遺伝子の発現応答  
性の解析  
(大阪医薬大薬) ○矢吹奈都、伊藤千紘、藤井 忍、福永理己郎

**K6~K11 (14:00~15:12)**

**座長：福永理己郎 (大阪医薬大薬)**

- K6 熱ストレス応答タンパク質 Hsp90 は酸化ストレス条件下で凝集体を形成する  
—Hsp90 と MAPK シグナル伝達経路の機能的関わりへの解明に向けて—  
(近畿大薬) ○壽 美月、富本尚史、高崎輝恒、佐藤亮介、杉浦麗子
- K7 Vitamin D<sub>3</sub> 代謝体 secalciferol による抗炎症効果の解析  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大 MEI セ、<sup>3</sup> 阪大 CiDER) ○見山さくら<sup>1</sup>、生駒健太<sup>1</sup>、潘 逸義<sup>1</sup>、高濱充  
寛<sup>1</sup>、武村直紀<sup>1</sup>、齊藤達哉<sup>1,2,3</sup>
- K8 ケモカイン受容体 CCR4 の欠損は慢性肝炎病態を軽減する  
(近畿大薬) ○奥村遼平、原 雄大、松尾一彦、中山隆志
- K9 食品中の TRPV1 チャネルアゴニストによる感覚神経刺激を介した免疫応答制御機構の解明  
(<sup>1</sup> 大阪大谷大薬、<sup>2</sup> 理研 脳神経科学研究セ) ○橋本茉由子<sup>1</sup>、大馬崎香綸<sup>1</sup>、井上 樹<sup>1</sup>、松本  
成美<sup>1</sup>、河内菜奈<sup>1</sup>、星田哲志<sup>2</sup>、楠本 豊<sup>1</sup>、戸村道夫<sup>1</sup>
- K10 Robo4 が感染症病態の悪化を抑制する新規メカニズムの探索  
(<sup>1</sup> 阪大薬、<sup>2</sup> 京大 CiRA) ○高山結衣<sup>1</sup>、田中雅人<sup>1</sup>、高山和雄<sup>2</sup>、藤尾 慈<sup>1</sup>、岡田欣晃<sup>1</sup>
- K11 KSHV ターミナーゼ複合体は子孫ウイルス産生に必須である  
(<sup>1</sup> 京都薬大、<sup>2</sup> 琉球大医、<sup>3</sup> 大医薬大医) ○祝迫佑紀<sup>1</sup>、渡部匡史<sup>2</sup>、鈴木陽一<sup>3</sup>、中野隆史<sup>3</sup>、  
藤室雅弘<sup>1</sup>

**【物理化学部会】L 会場**

**L1~L4 (10:40~11:28)**

**座長：佐野 紘平 (神戸薬大)**

- L1 ナノ粒子表面におけるタンパク質コロナ形成に粒子形状が及ぼす効果の熱力学的検討  
(神戸学院大薬) ○黒井邦巧、金澤勇太、新有留茜、安田優奈、藤井文彦
- L2 グリチルリチン酸モノアンモニウム分子集合体形成と薬物の可溶化機構の検討  
(大阪医薬大薬) ○安藤憲太、内山博雅、箕浦克彦、門田和紀、戸塚裕一
- L3 NMR を用いた LAIR-2 とコラーゲンペプチドとの相互作用解析  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大薬) ○勝見尚馬<sup>1</sup>、森新之祐<sup>2</sup>、河原一樹<sup>1</sup>、大久保忠恭<sup>1</sup>、吉田卓也<sup>1</sup>
- L4 インクジェット技術を用いた膜透過性ペプチドによる巨大分子のサイトゾル導入  
—インクジェット細胞内導入法—  
(阪公大院理) ○大村美香、中瀬生彦

## 【分析化学部会】L 会場

L5～L7 (14:00～14:36)

座長：木下 充弘 (近畿大薬)

- L5 脂質ナノディスクを用いた薬物代謝への脂質影響解析  
—脂肪肝モデルマウス由来ナノディスクを用いた薬物代謝解析—  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 武庫女大薬、<sup>3</sup> 阪大高等共創研、<sup>4</sup> 阪大院医、<sup>5</sup> 阪大 MEI、<sup>6</sup> 阪大ミュージアム・リンクス) ○前田峻作<sup>1</sup>、山下 沢<sup>2</sup>、芳賀優弥<sup>1</sup>、東阪和馬<sup>1,3</sup>、原田和生<sup>1,4</sup>、堤 康央<sup>1,5</sup>、辻野博文<sup>1,6</sup>
- L6 ポジトロン断層撮像法による活性化 p38 $\alpha$  イメージングのための放射性フッ素標識 R1487 の合成  
(<sup>1</sup> 大阪医薬大薬、<sup>2</sup> 大阪医薬大 BNCT セ) ○二木未来哉<sup>1</sup>、金井泰和<sup>2</sup>、若森恵大<sup>1</sup>、近藤直哉<sup>1</sup>、天満 敬<sup>1</sup>
- L7 LC-MS/MS を用いた食品中有機フッ素化合物の高精度分析法の開発  
—C4～C18 有機フッ素化合物の一斉分析を目指して—  
(<sup>1</sup> 立命館大薬、<sup>2</sup> 国立衛研) ○加藤紫花<sup>1</sup>、真宮彩乃<sup>1</sup>、長友涼介<sup>1</sup>、高山卓大<sup>1</sup>、堤 智昭<sup>2</sup>、井之上浩一<sup>1</sup>

## 【在宅医療推進教育プログラム (HOPE)】M 会場

M1～M5 (10:40～11:40)

座長：加藤 隆児 (大阪医薬大薬)  
浦嶋 庸子 (大阪大谷大薬)

- M1 趣旨説明  
(大阪医薬大薬) ○加藤隆児
- M2 人を見る在宅医療  
(大阪医薬大薬) ○米田奈緒
- M3 在宅医療における薬剤師の役割  
(武庫川女大薬) ○森口友貴
- M4 アサップ薬局での在宅医療と薬剤師の活躍について  
(大阪大谷大薬) ○澤田優果
- M5 学生向け在宅医療研修プログラムの実情と課題  
(ぼうしや薬局) ○一丸智司

一般学術講演（ポスター発表）P1 会場：1階カフェテリアブレス

貼付時間：10:30～12:00 示説時間：奇数番号 13:50～15:10  
偶数番号 15:10～16:30

## 【生物化学部会】

- P1-001 微量金属イオンがペプチド転移酵素 Sortase A の酵素反応、二次構造及び熱量変化に与える影響  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>兵庫県立大理、<sup>3</sup>北里大薬) ○水田安紀<sup>1</sup>、中川由佳<sup>2</sup>、芝田信人<sup>1</sup>、羽森真美<sup>3</sup>、根木 滋<sup>1</sup>
- P1-002 構造的アプローチによる GSH 還元反応における生体内微量金属イオンの関与の検討  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>北里大薬、<sup>3</sup>兵庫県立大理) ○大城幸子<sup>1</sup>、村上花楓<sup>1</sup>、羽森真美<sup>2</sup>、中川由佳<sup>3</sup>、根木 滋<sup>1</sup>
- P1-003 QCM 法による DNA 修復関連タンパク質 PARP1 の定量的機能解析  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>山形大院、<sup>3</sup>京大化研) ○佐藤有華<sup>1</sup>、細井咲良<sup>1</sup>、吉富英里佳<sup>1</sup>、古澤宏幸<sup>2</sup>、中川由佳<sup>3</sup>、間下雅士<sup>1</sup>、根木 滋<sup>1</sup>
- P1-004 種々のペプチドカチオンクラスターとウシ胸腺 DNA の凝集過程の観察  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>北里大薬、<sup>3</sup>京都大化学研、<sup>4</sup>同志社大生命医科) ○高野早希<sup>1</sup>、辻 唯央<sup>1</sup>、藪田 恵<sup>1</sup>、山根李奈<sup>1</sup>、羽森真美<sup>2</sup>、中川由佳<sup>3</sup>、吉川研一<sup>4</sup>、根木 滋<sup>1</sup>
- P1-005 PARP1 による新規の EGFR 内在化機構の解明  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>徳島大薬) ○平岡小波<sup>1</sup>、小林愛花<sup>1</sup>、三竿颯也<sup>2</sup>、野村篤生<sup>1</sup>、根木 滋<sup>1</sup>、藤野裕道<sup>2</sup>、藤井健志<sup>1</sup>、間下雅士<sup>1</sup>
- P1-006 ARH3 遺伝子改変による ADP-リボシル化バイオプローブの作製  
(同志社女大薬) ○野田麻琴、渡邊 萌、根木 滋、野村篤生、藤井健志、間下 雅士
- P1-007 線維素溶解系因子に焦点を当てた血管石灰化病態発症・進行メカニズムの解明 —血管石灰化病態発症・進行における線維素溶解系因子の役割—  
(同志社女大薬) ○奥野萌子、菅野陽介、尾崎恵一
- P1-008 MMP-12/uPAR に焦点を当てた線維化病態における血管障害発症メカニズムの解明 —MMP-12/uPAR による血管障害メカニズムの解明—  
(同志社女大薬) ○福本 香、菅野陽介、西原朱音、尾崎恵一
- P1-009 抹茶とその含有成分の血管新生促進作用 —抹茶と血管新生—  
(<sup>1</sup>神戸学院大薬、<sup>2</sup>神戸学院大院薬、<sup>3</sup>ネスレ日本株式会社、<sup>4</sup>東洋文化大スポーツ健康科)  
○山雄史子<sup>1</sup>、岩井亮太<sup>2</sup>、小山咲帆<sup>2</sup>、曾 瑩<sup>2</sup>、岡本正志<sup>1,2</sup>、福島洋一<sup>3,4</sup>、市橋正光<sup>1</sup>、水谷健一<sup>2</sup>
- P1-010 脂肪由来間葉系幹細胞の血管新生促進作用 —間葉系幹細胞と血管新生—  
(<sup>1</sup>神戸学院大薬、<sup>2</sup>神戸学院大院薬、<sup>3</sup>ロート製薬株式会社、<sup>4</sup>医療法人財団秀博会)  
○相川夏穂<sup>1</sup>、曾 瑩<sup>2</sup>、小山咲帆<sup>2</sup>、須田一真<sup>3</sup>、岡本正志<sup>1,2</sup>、田中勝喜<sup>4</sup>、市橋正光<sup>1</sup>、水谷健一<sup>2</sup>
- P1-011 アグリカン型プロテオグリカンの血管新生促進作用 —細胞外マトリックスと血管新生—  
(<sup>1</sup>神戸学院大薬、<sup>2</sup>神戸学院大院薬、<sup>3</sup>近畿大農、<sup>4</sup>一丸ファルコス) ○小野 晏<sup>1</sup>、安部佳美<sup>2</sup>、小山咲帆<sup>2</sup>、斎尾真吾<sup>1</sup>、岩井亮太<sup>2</sup>、片山ともか<sup>3</sup>、岡村大治<sup>3</sup>、榎谷晃明<sup>4</sup>、岡本正志<sup>1,2</sup>、市橋正光<sup>1</sup>、水谷健一<sup>2</sup>

- P1-012 毛包組織における毛細血管リモデリングの分子機構の解明 —血管と発毛—  
 (1神戸学院大院薬、2神戸学院大薬、3滋賀医科大学、4大正製薬株) ○鍵山怜那<sup>2</sup>、曾 瑩<sup>1</sup>、  
 小山咲帆<sup>1</sup>、高島さつき<sup>3</sup>、河野美夕<sup>2</sup>、依馬正次<sup>3</sup>、新井良平<sup>4</sup>、岡本正志<sup>1,2</sup>、市橋正光<sup>2</sup>、  
 水谷健一<sup>1</sup>
- P1-013 粥状動脈硬化巣形成に対する血管平滑筋細胞選択的 IVA ホスホリパーゼ A<sub>2</sub> 欠損の影響  
 (京都薬大) ○林 真生、河下映里、石原慶一、丹羽優悟、國近伶奈、金井志帆、秋葉 聡
- P1-014 メチル化 RNA 読み取りタンパク質 YTHDC1 による分裂制御機構の解明  
 (京都薬大) ○道盛里和、幸龍三郎、齋藤洋平、中山祐治
- P1-015 アミノ酸トランスポーターLAT1 はアミノ酸輸送阻害非感受性の分裂支持機構を有する  
 (京都薬大) ○柳田さくら、幸龍三郎、齋藤洋平、中山祐治
- P1-016 TNK2 阻害による染色体分配の異常  
 (京都薬大) ○村田真優、太田稜子、幸龍三郎、齋藤洋平、中山祐治
- P1-017 低分子量 G タンパク質 RhoG による細胞分裂時の形態制御  
 (京都薬大) ○栗島弘喜、安武隆司、海堀祐一郎、幸龍三郎、齋藤洋平、中山祐治
- P1-018 Aurora B 阻害剤による v-Src 発現細胞の細胞死誘導機構の解析  
 (京都薬大) ○定仙大志、幸龍三郎、齋藤洋平、中山祐治
- P1-019 シンバスタチンによる細胞分裂の遅延  
 (京都薬大) ○田中潤奈、天野多詠、中山祐治
- P1-020  $\gamma$ -glutamylcyclotransferase (GGCT) ノックダウンによる膠芽腫幹細胞の増殖抑制効果とそのメカニズム  
 (1京都薬大、2近畿大医) ○野瀬 梢<sup>1</sup>、茂山千愛美<sup>1</sup>、森 昌也<sup>1</sup>、飯居宏美<sup>1</sup>、藤田 貢<sup>2</sup>、  
 中田 晋<sup>1</sup>
- P1-021 Cys1 による中枢神経再生機構の解析  
 (京都薬大) ○砂野 誠、関根勇一、藤室雅弘
- P1-022 種々の染色体欠失マウスを用いたダウン症候群モデルマウス脳での銅蓄積遺伝子の遺伝子座同定  
 (1京都薬大、2成育医療セ、3名市大院医) ○巽友理奈<sup>1</sup>、高田修治<sup>2</sup>、山川和弘<sup>3</sup>、河下映里<sup>1</sup>、  
 秋葉 聡<sup>1</sup>、石原慶一<sup>1</sup>
- P1-023 ダウン症候群モデルマウスでの情動記憶障害と脳での銅蓄積の関与 —ダウン症脳での銅蓄積の分子病態解析—  
 (1京都薬大、2名市大院医) ○北川果鈴<sup>1</sup>、河下映里<sup>1</sup>、山川和弘<sup>2</sup>、秋葉 聡<sup>1</sup>、石原慶一<sup>1</sup>
- P1-024 FoxO3a はミトコンドリア関連因子を介して創傷治癒を抑制している  
 (近畿大薬総研) ○後藤彩文、森山麻里子、若竹茉夏、三宅佑有子、森山博由
- P1-025 コンドロイチン 6-O-硫酸基転移酵素-1 欠損マウスにおけるパルブアルブミン陽性細胞の解析  
 (神戸薬大) ○近藤綾子、小池敏靖、灘中里美、北川裕之
- P1-026 シスプラチン誘導性細胞死へのセラミド合成酵素 2 の関与 —極長鎖セラミド分子種依存的な細胞死—  
 (1摂南大薬、2国立感染症研) ○加藤未由<sup>1</sup>、小木曾悠里<sup>1</sup>、浜尾竜司<sup>1</sup>、花田賢太郎<sup>2</sup>、山地俊之<sup>2</sup>、  
 松田将也<sup>1</sup>、奈邊 健<sup>1</sup>、北谷和之<sup>1</sup>

- P1-027 ネクロプトーシス実行分子 MLKL と極長鎖セラミド分子種との分子間相互作用の解析  
—ネクロプトーシスにおける分子間相互作用の意義—  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>国立感染症研) ○池本理乃<sup>1</sup>、小木曾悠里<sup>1</sup>、山澤龍治<sup>1</sup>、伊藤 潔<sup>1</sup>、松田将也<sup>1</sup>、山地俊之<sup>2</sup>、花田賢太郎<sup>2</sup>、奈邊 健<sup>1</sup>、北谷和之<sup>1</sup>
- P1-028 スフィンゴミエリン合成酵素 2 による EGF 受容体シグナリングの増強 —スフィンゴ脂質による EGF 受容体の翻訳後修飾の調節—  
(摂南大薬) ○藤原功裕、榮 春海、松田将也、奈邊 健、北谷和之
- P1-029 Ezrin リン酸化阻害剤 NSC305787 の線毛運動に対する効果の検討  
(<sup>1</sup>立命館大薬、<sup>2</sup>阪大院薬) ○横山さくら<sup>1</sup>、Wang Haoting<sup>2</sup>、川口高德<sup>1</sup>、浅野真司<sup>1</sup>
- P1-030 細胞質ダイニン阻害剤による線毛運動阻害効果の検討  
(立命館大薬) ○守本 栞、Zhao Boshi、廣澤孝駿、川口高德、浅野真司
- P1-031 *Trpm1* 欠損マウスにおける脳内環境変化の網羅的解析  
(<sup>1</sup>立命館大院薬、<sup>2</sup>立命館大薬、<sup>3</sup>立命館大生命、<sup>4</sup>システム視覚科学研セ) ○岡部俊太<sup>1</sup>、堀 哲崇<sup>1</sup>、岩尾京春<sup>2</sup>、木津川尚史<sup>3,4</sup>、小池千恵子<sup>1,2,4</sup>
- P1-032 自発発振を示す網膜変性疾患モデル間の網膜組織構造の比較解析  
(<sup>1</sup>立命館大薬、<sup>2</sup>立命館大院生命、<sup>3</sup>立命館大院薬、<sup>4</sup>株式会社ビジョンケア) ○徳本瑤己<sup>1</sup>、福留雅史<sup>2</sup>、渡邊美樹也<sup>3,4</sup>、堀江 翔<sup>3</sup>、小池千恵子<sup>1</sup>
- P1-033 枯草菌 YabG の基質 CotF の精製と結晶化条件の検討  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>摂南大理工) ○小高智哉<sup>1</sup>、山澤龍治<sup>1</sup>、桑名利津子<sup>1</sup>、中嶋義隆<sup>2</sup>、竹内健治<sup>1</sup>、高松宏治<sup>1</sup>、伊藤 潔<sup>1</sup>
- P1-034 枯草菌 YabG に保存されたアルギニン残基の役割  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>摂南大理工) ○奥島香音<sup>1</sup>、山澤龍治<sup>1</sup>、桑名利津子<sup>1</sup>、中嶋義隆<sup>2</sup>、竹内健治<sup>1</sup>、高松宏治<sup>1</sup>、伊藤 潔<sup>1</sup>
- P1-035 YabG プロテアーゼの N 末端領域は活性を阻害する  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>摂南大理工) ○中村 諒<sup>1</sup>、山澤龍治<sup>1</sup>、桑名利津子<sup>1</sup>、中嶋義隆<sup>2</sup>、竹内健治<sup>1</sup>、高松宏治<sup>1</sup>、伊藤 潔<sup>1</sup>
- P1-036 結晶構造解析を目指した好熱菌 *Geobacillus stearothermophilus* YabG の精製と結晶化  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>摂南大理工) ○高橋沙耶香<sup>1</sup>、山澤龍治<sup>1</sup>、桑名利津子<sup>1</sup>、中嶋義隆<sup>2</sup>、竹内健治<sup>1</sup>、高松宏治<sup>1</sup>、伊藤 潔<sup>1</sup>
- P1-037 好熱菌 *Geobacillus stearothermophilus* SpoIVA のポリマー化に関する研究  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>摂南大理工) ○大東祐香子<sup>1</sup>、山澤龍治<sup>1</sup>、桑名利津子<sup>1</sup>、中嶋義隆<sup>2</sup>、竹内健治<sup>1</sup>、高松宏治<sup>1</sup>、伊藤 潔<sup>1</sup>
- P1-038 芽胞形成菌間における SpoIVA タンパク質および YabG タンパク質の機能の補完性の解析  
(摂南大薬) ○松岡志保、山澤龍治、伊藤 潔、高松宏治、桑名利津子
- P1-039 蛍光タンパク質と蛍光色素を用いた細胞膜を標的とする抗生物質の作用の可視化に関する研究  
(摂南大薬) ○福本紗也、山澤龍治、桑名利津子、伊藤 潔、高松宏治
- P1-040 緑色蛍光タンパク質を用いた枯草菌膜タンパク質の局在部位の解析  
(摂南大薬) ○黒木宏紀、山澤龍治、桑名利津子、伊藤 潔、高松宏治

- P1-041 生菌製剤に含まれる枯草菌芽胞に由来する酵素の医薬品に対する影響に関する研究  
(摂南大薬) ○大内多恵、山澤龍治、桑名利津子、伊藤 潔、高松宏治
- P1-042 紫外線照射後の発芽に関与する *ykoV-ligD* 遺伝子の解析  
(摂南大薬) ○篠原愛美、山澤龍治、伊藤 潔、高松宏治、桑名利津子
- P1-043 2xSG 培地における培養温度の違いによるセレウス菌の芽胞形成の多様性解析  
(摂南大薬) ○吉原麻佑子、山澤龍治、伊藤 潔、高松宏治、桑名利津子
- P1-044 プロバイオティクス製剤の *Clostridium butyricum* の芽胞形成および pH 変化による酪酸生産時期の解析  
(摂南大薬) ○松尾小夏、爪 恵音、山澤龍治、伊藤 潔、高松宏治、桑名利津子
- P1-045 *Clostridium butyricum* の形態観察を目的とした染色技術の開発研究  
(摂南大薬) ○爪 恵音、松尾小夏、山澤龍治、桑名利津子、伊藤 潔、高松宏治
- P1-046 B 型肝炎ウイルスのスパイクタンパク質を利用した DDS キャリアの開発  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>阪大院医) ○小川真都花<sup>1</sup>、酒井智帆<sup>1</sup>、布藤愛望<sup>1</sup>、堀田真梨<sup>1</sup>、祝迫祐紀<sup>1</sup>、上田啓次<sup>2</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>
- P1-047 薬物・遺伝子送達キャリアとして利用できる B 型肝炎ウイルス様粒子の開発  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>阪大院医) ○大塩ひとみ<sup>1</sup>、酒井智帆<sup>1</sup>、布藤愛望<sup>1</sup>、堀田真梨<sup>1</sup>、祝迫祐紀<sup>1</sup>、上田啓次<sup>2</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>
- P1-048 カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスのリボヌクレオチド還元酵素 ORF61 の機能解析  
(京都薬大) ○帆足聖吾、祝迫祐紀、藤室雅弘
- P1-049 カポジ肉腫関連ヘルペスウイルス感染による多剤排出ポンプ P-gp の発現亢進  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>摂南大薬) ○木村佳苗<sup>1</sup>、上野友輔<sup>1</sup>、清原美咲<sup>1</sup>、山口達生<sup>1</sup>、祝迫祐紀<sup>1</sup>、山岸伸行<sup>2</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>
- P1-050 カポジ肉腫関連ヘルペスウイルス ORF69 の機能解析  
(京都薬大) ○橘明日香、祝迫祐紀、藤室雅弘
- P1-051 カポジ肉腫関連ヘルペスウイルス感染による低酸素ストレス応答システムの脱制御  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>北医療大薬、<sup>3</sup>神戸大院医) ○若田果蓮<sup>1</sup>、中川宏治<sup>2</sup>、祝迫祐紀<sup>1</sup>、山口達生<sup>1</sup>、石丸華子<sup>3</sup>、関根勇一<sup>1</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>
- P1-052 単純ヘルペスウイルス 1 型 (HSV-1) 感染は、脱ユビキチン化酵素 USP5 のユビキチン化修飾を変化させる  
(京都薬大) ○高木美玖、池田茉莉那、北村友梨奈、黒橋 萌、藤室雅弘
- P1-053 HSV1 感染はユビキチンタンパクやウイルスタンパクを含む凝集塊を産生させる  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>鳥取大医、<sup>3</sup>杏林大医) ○池田育寛<sup>1</sup>、黒橋 萌<sup>1</sup>、山口達生<sup>1</sup>、祝迫祐紀<sup>1</sup>、須賀 圭<sup>3</sup>、中曽一裕<sup>2</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>
- P1-054 ケモカイン CCL28 は間質細胞からの CCL11 の発現を誘導し、好酸球の腫瘍浸潤に関わる  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>近畿大理工、<sup>3</sup>姫路獨協大薬、<sup>4</sup>近畿大医、<sup>5</sup>Kampo and Health Institute) ○西田晃尚<sup>1</sup>、山本真也<sup>1</sup>、松尾一彦<sup>1</sup>、早坂晴子<sup>2</sup>、海堀祐一郎<sup>3</sup>、長久保大輔<sup>3</sup>、原 雄大<sup>1</sup>、義江 修<sup>4,5</sup>、中山隆志<sup>1</sup>

- P1-055 上皮間葉転換を介したがん悪性化の評価法確立  
(<sup>1</sup> 阪大薬、<sup>2</sup> 阪大院薬、<sup>3</sup> 阪大高等共創研、<sup>4</sup> 阪大 MEI セ、<sup>5</sup> 阪大先導) ○久保美南海<sup>1</sup>、芳賀優弥<sup>2</sup>、北本夏子<sup>2</sup>、辻井勇氣<sup>2</sup>、東阪和馬<sup>2,3</sup>、堤 康央<sup>2,4,5</sup>
- P1-056 ヒト大腸癌由来 HCT116 細胞の細胞遊走性および浸潤性獲得における c-Src チロシンキナーゼの関与  
(摂南大薬) 岡本水琴、海堀祐一郎、久家貴寿、○山岸伸行
- P1-057 B 細胞受容体シグナル活性化における亜鉛トランスポーターの役割  
(摂南大薬) ○堀江皓貴、梶栗有紗、谷口将济、海堀裕一郎、久家貴寿、山岸伸行
- P1-058 Bcl-2family 分子阻害剤による EGFR-TKI 耐性ヒト非小細胞肺がんの抗がん剤耐性克服機序  
(摂南大薬) ○岡田花鈴、富村一斗、清水 咲、山澤龍治、伊藤 潔、竹内健治
- P1-059 ヒト乳がん細胞株に対するアシタバ含有カルコン類の抗がん作用  
(大阪医薬大薬) ○千坂理佐、森田笑未、平位紗恵子、竹内有沙、田中 智、坂口 実
- P1-060 ヒト骨髄性白血病細胞に対するプロリルオリゴペプチダーゼ阻害薬 (SUAM-14746) の細胞死誘導作用  
(大阪医薬大薬) ○服部聖来、遠藤麻由香、関戸麻美、山口美咲、田中 智、坂口 実
- P1-061 癌微小環境において脂肪細胞がトリプルネガティブ乳癌の転移能に与える影響  
(大阪医薬大薬) ○越野ひなた、中辻匡俊、藤森 功
- P1-062 舌粘膜組織の神経、免疫細胞の 3D 可視化系の確立  
(<sup>1</sup> 大阪大谷大薬、<sup>2</sup> 理研・脳神経科学研究センター) ○松本成美<sup>1</sup>、河内菜奈<sup>1</sup>、星田哲志<sup>2</sup>、橋本茉由子<sup>1</sup>、楠本 豊<sup>1</sup>、戸村道夫<sup>1</sup>
- P1-063 カプサイシンによる舌感覚神経刺激を介した免疫応答制御メカニズムの解明  
(大阪大谷大薬) ○井上 樹、大馬崎香綸、野村真里恵、松本成美、橋本茉由子、楠本 豊、戸村道夫
- P1-064 舌背の TRPV1 チャンネル、感覚神経、免疫細胞の 3D 可視化による神経-免疫系相互作用の解析  
(<sup>1</sup> 大阪大谷大薬、<sup>2</sup> 理研・脳神経科学研究センター) ○河内菜奈<sup>1</sup>、松本成美<sup>1</sup>、星田哲志<sup>2</sup>、橋本茉由子<sup>1</sup>、楠本 豊<sup>1</sup>、戸村道夫<sup>1</sup>
- P1-065 KikGR マウス骨髄キメラマウスを用いた舌下免疫細胞クラスター構成細胞の解析  
(大阪大谷大薬) ○野村真里恵、岩佐悠紀、水内 龍、坂本響哉、神家幸香、田中優斗、橋本茉由子、楠本 豊、戸村道夫
- P1-066 精漿刺激から着床に至る子宮内樹状細胞の局在解析  
(<sup>1</sup> 大阪大谷大薬、<sup>2</sup> 富山大医) ○三浦拓人<sup>1</sup>、今井慎仁<sup>1</sup>、安田一平<sup>2</sup>、橋本茉由子<sup>1</sup>、楠本 豊<sup>1</sup>、戸村道夫<sup>1</sup>
- P1-067 テープストリッピング法によりアレルゲン投与したマウス骨髄における長期生存型 IgE 産生細胞の検出  
(大阪大谷大薬) ○水内 龍、野村真里恵、神家幸香、坂本響哉、岩佐悠紀、大馬崎香綸、岡村亘起、橋本茉由子、楠本 豊、戸村道夫

- P1-068 骨髄ニッチシグナル CXCL12-CXCR4 阻害による急性骨髄性白血病幹細胞の骨髄遊離と生体内移動促進効果  
(大阪大谷大薬) ○西田 賢、熊谷僚斗、岡村亘起、大馬崎香綸、坂本響哉、田中優斗、野村真里恵、松本成美、橋本茉由子、楠本 豊、戸村道夫
- P1-069 急性骨髄性白血病幹細胞の動態依存的な標的分子の同定  
(大阪大谷大薬) ○岡村亘起、熊谷僚斗、大馬崎香綸、坂本響哉、田中優斗、野村真里恵、松本成美、橋本茉由子、楠本 豊、戸村道夫
- P1-070 治療標的分子の同定を目指した白血病急性転化における白血病細胞の生体内動態解明  
(大阪大谷大薬) ○平井佑佳、西田 賢、三浦拓人、橋本茉由子、楠本 豊、戸村道夫
- P1-071 スカベンジャー受容体とトランスフェクションの関係についての検討  
(大阪医薬大薬) ○安井 司、岡本 豪、羽瀧康容、楠本嵩志、奥平桂一郎
- P1-072 RSK/MSK ファミリーキナーゼの多重ノックアウト HeLa 細胞の作成と解析 —CRISPR/Cas9 による多重ノックアウト法を用いて—  
(大阪医薬大薬) ○芳田瑞月、近藤良一、鷹屋優希、木岡 誠、浅木 誠、藤井 忍、藤井俊裕、伊藤千紘、福永理己郎
- P1-073 SIRC-STE 法による精油の眼刺激性試験 ～細胞生存率と抗酸化能の相関について～  
(<sup>1</sup> 武庫川女大薬、<sup>2</sup> 武庫川女大バイオサイエンス) ○古市英里佳<sup>1</sup>、久保瑞季<sup>1</sup>、仁木洋子<sup>1,2</sup>
- P1-074 簡易装置を用いた細胞内 K<sup>+</sup>イオン濃度変化測定に関する研究  
(摂南大薬) ○岩本昂也、岡田暉己、森永龍太、西亜依梨、金城俊彦、宇野恭介、倉本展行
- P1-075 K<sup>+</sup>イオン濃度測定における電極法と K<sup>+</sup>蛍光指示薬を用いた測定との比較  
(摂南大薬) ○岡田暉己、保坂裕美、金城俊彦、宇野恭介、倉本展行

## 【医療薬学・薬剤学部会】

- P1-076 磁場を利用したリポソーム修飾間葉系幹細胞の作製とその機能評価  
(<sup>1</sup> 神戸薬大、<sup>2</sup> 阪大院薬) ○河野裕允<sup>1</sup>、神原妃弥<sup>1</sup>、檀上早希<sup>1</sup>、櫻井文教<sup>2</sup>、細川美香<sup>1</sup>、大河原賢一<sup>1</sup>
- P1-077 B 型肝炎ウイルス様粒子を用いた肝細胞特異的送達能の評価  
(<sup>1</sup> 京都薬大、<sup>2</sup> 阪大医) ○堀田真梨<sup>1</sup>、布藤愛望<sup>1</sup>、酒井智帆<sup>1</sup>、祝迫佑紀<sup>1</sup>、関根勇一<sup>1</sup>、上田啓次<sup>2</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>
- P1-078 単純ヘルペスウイルス 1 型 (HSV-1) を標的とした抗ウイルス化合物の開発  
(<sup>1</sup> 京都薬大 細胞生物学分野、<sup>2</sup> 京都薬大 薬化学分野) ○前田 笙<sup>1</sup>、角谷廣智<sup>1</sup>、太田萌絵<sup>2</sup>、井上拓実<sup>2</sup>、古田 巧<sup>2</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>
- P1-079 海馬神経細胞標的能を有する融合タンパク質の設計と評価  
(神戸学院大薬) ○白田龍聖、西山菜々香、池田健登、大元優香、真木まあや、宮内悠喜、武田真莉子、亀井敬泰
- P1-080 Oxytocin 鼻腔内投与後の脳移行性に対する Glymphatic system の影響  
(<sup>1</sup> 神戸薬大、<sup>2</sup> 大阪医薬大薬、<sup>3</sup> 京都薬大) ○曹 昌雄<sup>1</sup>、田中晶子<sup>1</sup>、岩永一範<sup>2</sup>、勝見英正<sup>3</sup>、古林呂之<sup>1</sup>、坂根稔康<sup>1</sup>

- P1-081 ペプチド医薬の経口送達のための多機能性ナノゲル粒子の開発 —スルホン酸系ビニルモノマーの導入が薬物封入・放出特性に与える影響—  
(<sup>1</sup>神戸学院大院薬、<sup>2</sup>神戸学院大薬) ○金 昌俊<sup>1</sup>、安藤 徹<sup>2</sup>、市川秀喜<sup>1,2</sup>
- P1-082 老視予防法の確立を目指して —ニルバジピンナノサスペンション点眼による亜セレン酸ナトリウム誘発ラット水晶体硬化の抑制—  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>おかもと眼科、<sup>3</sup>慶應大薬、<sup>4</sup>Gujarat Technological University) ○浅井拓己<sup>1</sup>、門脇玲太<sup>1</sup>、出口粧央里<sup>1</sup>、大竹裕子<sup>1</sup>、岡本紀夫<sup>2</sup>、中澤洋介<sup>3</sup>、Misra Manju<sup>4</sup>、長井紀章<sup>1</sup>
- P1-083 生理学的速度論モデルに基づくグレープフルーツジュース併用時の血中薬物濃度シミュレーション  
(<sup>1</sup>兵庫医大薬、<sup>2</sup>兵庫医大院薬) ○林 琢成<sup>1</sup>、白石秀伍<sup>1</sup>、吉年 勉<sup>2</sup>、柴井修平<sup>1</sup>、藤野秀樹<sup>1,2</sup>
- P1-084 消化管上皮及び肝細胞モデルでの漢方薬による薬物動態制御因子の発現変動  
(<sup>1</sup>兵庫医大薬、<sup>2</sup>姫路獨協大薬) ○橋本佳奈<sup>1</sup>、大澤祉恩<sup>1</sup>、榎本大智<sup>1</sup>、中山優子<sup>2</sup>、高良恒史<sup>1</sup>
- P1-085 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の副作用リスクを変動させる候補薬物による OATP の輸送機能および発現の変動  
(立命館大薬) ○中井笑美、藤野智恵里、河村陸斗、田上愛花、小川慶子、上島 智、細木るみこ、桂 敏也
- P1-086 II型糖尿病モデルラットにおけるナトリウム・グルコース共輸送体 2 阻害剤 dapagliflozin の血漿中濃度と insulin 濃度低下  
(京都薬大) ○溝田莉夕、寺尾美優、河渕真治、伊藤由佳子、柴田敏之
- P1-087 リキッドバイオプシーによる膵癌化学療法時の血中循環腫瘍細胞動態  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>立命館大薬、<sup>3</sup>愛知医大院医) ○松永 夢<sup>1</sup>、吉岡祥真<sup>1</sup>、上南静佳<sup>2</sup>、河渕真治<sup>1</sup>、天ヶ瀬紀久子<sup>2</sup>、中西速夫<sup>3</sup>、柴田敏之<sup>1</sup>、伊藤由佳子<sup>1</sup>
- P1-088 Fenofibrate 投与に伴う横紋筋融解症に対する pitavastatin、atorvastatin 併用の影響 —JADER データベースの解析とラットにおける基礎的検討—  
(京都薬大) ○千頭 咲、森脇 茜、河渕真治、冨瀬 諒、伊藤由佳子、村木優一、柴田敏之
- P1-089 膵癌化学療法中の骨髄抑制予防のための用量調節の可能性  
(京都薬大) ○寺内涼音、吉岡宏祐、河渕真治、柴田敏之、伊藤由佳子
- P1-090 リゾリン脂質アシル転移酵素 LPGAT1/LPLAT7 が肝臓における脂質代謝に与える影響に関する検討  
(<sup>1</sup>大阪大谷大薬、<sup>2</sup>阪大院薬、<sup>3</sup>医薬健栄研、<sup>4</sup>阪大国際医工セ、<sup>5</sup>阪大先導、<sup>6</sup>阪大感染症総合教育研究拠点) ○松尾弥優<sup>1</sup>、清水かほり<sup>1</sup>、浦 大志<sup>1</sup>、岩崎美穂<sup>1</sup>、櫻井文教<sup>2</sup>、水口裕之<sup>2,3,4,5,6</sup>、富田晃司<sup>1</sup>、西中 徹<sup>1</sup>
- P1-091 グルコース濃度の違いが腫瘍微小環境の形成に関わる分子の発現に与える影響 —グルコース濃度の変化がプロトンを排出するトランスポーターや交換体などの分子の発現に与える影響に関する研究—  
(神戸学院大薬) ○近田那央、灘井崇宜、岸本修一、福島昭二
- P1-092 BCG-CWS 製剤を用いたがんワクチン療法における抗原の事前処理の影響  
(神戸学院大薬) ○西川昂大、大野音葉、小田康貴、灘井崇宜、福島昭二、岸本修一

- P1-093 クリゾチニブ長期曝露による A549 細胞の耐性獲得とその細胞特性  
(<sup>1</sup>兵庫医大薬、<sup>2</sup>姫路獨協大薬) 山内瑠七<sup>1</sup>、青木沙樹<sup>1</sup>、榎本大智<sup>1</sup>、中山優子<sup>2</sup>、○高良恒史<sup>1</sup>
- P1-094 化粧水の表面張力の温度依存性に関する基礎的検討 —しっとりタイプやさっぱりタイプの違いの物性評価—  
(武庫川女大薬) ○沼田世羅、岩隈由江、平尾哲二、渡辺 啓、黒田幸弘
- P1-095 亜鉛及び新規亜鉛錯体の癌細胞に対する増殖抑制作用  
(<sup>1</sup>兵庫医大薬、<sup>2</sup>神戸女大) ○榎本大智<sup>1</sup>、田中 魁<sup>1</sup>、大澤祉恩<sup>1</sup>、中尾周平<sup>1</sup>、清水 忠<sup>1</sup>、吉川 豊<sup>2</sup>、高良恒史<sup>1</sup>
- P1-096 糖質コルチコイドが褐色脂肪組織における UCP1 発現に及ぼす影響  
(<sup>1</sup>武庫川女大薬、<sup>2</sup>国立病院機構京都医療セ臨床研究セ) ○杷野宏美、光谷真奈、松下 翠、横山明似、森田歩生、濱本明日花、藤川朝美、二若久美、田上哲也、森山賢治
- P1-097 乳癌細胞株 HCC1937 における間葉系 CSC の形態学および免疫細胞化学的解析  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>同志社女大院薬) ○中西菜摘<sup>1</sup>、糸藤モナ<sup>1</sup>、橋本京果<sup>1</sup>、瀬ノ田采子<sup>2</sup>、松田洋佳<sup>1</sup>、井口実咲<sup>1</sup>、井上沙奈<sup>1</sup>、吉川清次<sup>1</sup>、高橋 玲<sup>1,2</sup>
- P1-098 共培養下の破骨細胞分化における RANKL シグナル経路の解析  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>同志社女大院薬) ○富田詩織<sup>1</sup>、瀬ノ田采子<sup>2</sup>、平野里佳<sup>1</sup>、松本祐佳<sup>1</sup>、稲富百香<sup>1</sup>、井上沙奈<sup>1</sup>、吉川清次<sup>1</sup>、高橋 玲<sup>1,2</sup>
- P1-099 GGCT ノックダウンの大腸がん細胞増殖抑制効果における Wnt 経路の関与  
(京都薬大) ○近藤由佳、立川歩実、近藤真帆、木下晴菜、飯居宏美、中田 晋
- P1-100 膠芽腫幹細胞の GGCT 発現制御機構に対する cJun の関与  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>近畿大医) ○嶋田絢子<sup>1</sup>、山本夏菜<sup>1</sup>、橋本彩花<sup>1</sup>、野瀬 梢<sup>1</sup>、藤田 貢<sup>2</sup>、飯居宏美<sup>1</sup>、中田 晋<sup>1</sup>
- P1-101 GGCT 阻害剤と xCT 阻害剤の併用による膠芽腫幹細胞に対する相乗的な増殖抑制効果  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>近畿大医) ○櫻井夏奈<sup>1</sup>、森 昌也<sup>1</sup>、野瀬 梢<sup>1</sup>、藤田 貢<sup>2</sup>、飯居宏美<sup>1</sup>、中田 晋<sup>1</sup>
- P1-102 新規アセトゲニン誘導体による小細胞肺癌および大腸がん細胞の増殖抑制効果  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>長崎国際大薬) ○下防穂乃佳<sup>1</sup>、草木菜穂<sup>1</sup>、小島直人<sup>2</sup>、飯居宏美<sup>1</sup>、中田 晋<sup>1</sup>
- P1-103 2 型糖尿病合併脂質異常症モデルラットにおいて黒酢が血中脂質濃度にもたらす影響  
(大阪医薬大薬) ○下村梨央、松本風真、幸田祐佳、田中早織、加藤隆児
- P1-104 リアルワールドデータを用いた炎症性腸疾患における分子標的薬の使用実態調査  
(京大院薬) ○坂元瑞理、津田真弘、竹内美優、宗可奈子、樋口ゆり子、山下富義
- P1-105 Tweet のテキスト経時分析による感染症拡大予測の試み  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>近畿大理工) ○畑中一希<sup>1</sup>、大内秀一<sup>1</sup>、和田哲幸<sup>1</sup>、船上仁範<sup>1</sup>、八軒浩子<sup>1</sup>、大星直樹<sup>2</sup>、松野純男<sup>1</sup>
- P1-106 医薬品副作用データベース (JADER) を用いたインスリン自己免疫症候群  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>大和大保健医療) ○小銭未那<sup>1</sup>、水原海人<sup>1</sup>、岩山 涼<sup>1</sup>、眞島 崇<sup>2</sup>、小西麗子<sup>1</sup>、小森浩二<sup>1</sup>、河田 興<sup>1</sup>、向井 啓<sup>1</sup>

- P1-107 神戸市ヘルスケアデータ連携システムを利用した新規介護認定と特定疾病との関連性についての検討  
(近畿大薬) ○山道 慎、中川千拓、宇野貴哉、横山 聡、細見光一
- P1-108 小児ヘテロ接合体家族性高コレステロール血症におけるスタチン療法のネットワークメタアナリシス  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>大和大保健医療) ○白玉智菜<sup>1</sup>、熊谷亜美<sup>1</sup>、眞島 崇<sup>2</sup>、小西麗子<sup>1</sup>、小森浩二<sup>1</sup>、河田 興<sup>1</sup>、向井 啓<sup>1</sup>
- P1-109 Business Intelligence (BI) ツールによる医療資源配分の最適化への試み  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>近畿大理工) ○上田真理恵<sup>1</sup>、大内秀一<sup>1</sup>、和田哲幸<sup>1</sup>、船上仁範<sup>1</sup>、八軒浩子<sup>1</sup>、大星直樹<sup>2</sup>、松野純男<sup>1</sup>
- P1-110 非弁膜症性心房細動患者における経口抗凝固薬と大腸がんに関する検討 —保険者データベースを用いたコホート内症例対照研究—  
(近畿大薬) ○永井崇顕、角田匡基、山本健太、中川千拓、小松唯可、宇野貴哉、横山 聡、細見光一
- P1-111 食道癌FP療法施行患者における術後回復期以降のプラチナ血中濃度推移と臨床検査値との関連解析  
(<sup>1</sup>大阪医薬大薬、<sup>2</sup>神戸大病院薬) ○吉岡佐恵<sup>1</sup>、山下和彦<sup>2</sup>、岩永一範<sup>1</sup>、山本和宏<sup>2</sup>、矢野育子<sup>2</sup>、中村 任<sup>1</sup>
- P1-112 終末期在宅医療への薬剤師参画に関する現状把握と課題の抽出  
(近畿大薬) ○中西真奈、松野純男、北小路学、高橋克之、大鳥 徹
- P1-113 HIV 薬物療法における使用薬剤の簡易懸濁法可否に関する検討 —ドルテグラビルの溶解性に及ぼすラミブジン・アバカビル硫酸塩配合剤の影響—  
(大阪医薬大薬) ○山村瑞穂、中村 任、岩永一範
- P1-114 甲状腺ホルモンの発現部位と薬理学的な考察  
(<sup>1</sup>武庫川女大薬、<sup>2</sup>国立病院京都医療セ臨床研セ) ○横山明似<sup>1</sup>、光谷真奈<sup>1</sup>、松下 翠<sup>1</sup>、森田歩生<sup>1</sup>、杷野宏美<sup>1</sup>、濱本明日花<sup>1</sup>、藤川朝美<sup>1</sup>、二若久美<sup>1</sup>、田上哲也<sup>2</sup>、森山賢治<sup>1,2</sup>
- P1-115 機械学習を用いた腎臓由来細胞に対する毒性リスクを示す化合物の構造的特徴の検討  
(立命館大薬) ○川添颯音、小川慶子、細木るみこ
- P1-116 薬局薬剤師と薬局利用者における健康サポート薬局サービスの重要度の比較  
(京都薬大) ○田中克憲、棚橋嵩一郎、今西孝至、長澤吉則
- P1-117 オゾンガス曝露量検出におけるインジケータの改良  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>㈱タムラテコ) ○岡本優子<sup>2</sup>、西岡菜名美<sup>1</sup>、吉岡雅起<sup>1</sup>、井上知美<sup>1</sup>、石渡俊二<sup>1</sup>、小竹 武<sup>1</sup>
- P1-118 高濃度カリウム製剤による医療事故防止を目指した放射線計測 —イメージングプレートを用いたカリウム濃度の新規定量法—  
(<sup>1</sup>兵庫医大薬、<sup>2</sup>兵庫医大院薬) ○林 泰成<sup>1</sup>、高橋美帆<sup>1</sup>、吉年 勉<sup>2</sup>、栄井修平<sup>1</sup>、藤野秀樹<sup>1,2</sup>

## 【薬物治療学・薬理学部会】

- P1-119 ビスフォスフォネート製剤の消化管に及ぼす影響  
(立命館大薬) ○福家早織、大塚勇輝、中井梨華子、大城智慧、小川慶子、細木るみこ、天ヶ瀬紀久子
- P1-120 イリノテカンによって誘起される小腸炎の病態について  
(立命館大薬) ○齋藤美佳、大槻 輝、西入加奈子、福原瑞季、天ヶ瀬紀久子
- P1-121 抗がん剤誘起腸炎の治癒過程に関する検討  
(立命館大薬) ○上南静佳、菅原 遼、北西正馬、天ヶ瀬紀久子
- P1-122 マウス多発性硬化症モデルの病態早期におけるオリゴデンドロサイト前駆細胞の役割  
(京大院薬) ○植村 凧、大橋佳奈、谷山一修、永安一樹、金子周司、白川久志
- P1-123 メタボリックシンドロームモデル SHRSF.Z-*Lepr<sup>fl/fl</sup>*/ZmDmcr ラットにおけるプロテアーゼ活性化型受容体 2 を介した血管拡張能の研究 ―性および加齢の影響―  
(<sup>1</sup>武庫川女大薬、<sup>2</sup>ウェスタン・オンタリオ大、<sup>3</sup>武庫川女大バイオサイエンス研) ○麓(丸山)加菜<sup>1</sup>、McGuire John J.<sup>2</sup>、篠塚和正<sup>1</sup>、籠田智美<sup>1,3</sup>
- P1-124 多発性骨髄腫におけるプロテアソーム阻害剤耐性機構の解析  
(近畿大薬) ○野村知花、椿 正寛、武田朋也、田中滯美、竹藤帆花、滝本航大、尾花輝樹、西田升三
- P1-125 多発性骨髄腫におけるアドリアマシジン及びデキサメタゾン耐性機序の解明  
(近畿大薬) ○重利莉花、椿 正寛、武田朋也、竹藤帆花、滝本航大、尾花輝樹、西田升三
- P1-126 CML におけるダサチニブ耐性機序の解明  
(近畿大薬) ○宮崎佳萌、椿 正寛、武田朋也、田中滯美、星田唯史、西田升三
- P1-127 DMF による悪性黒色腫における転移抑制効果  
(近畿大薬) ○大山瑞貴、椿 正寛、武田朋也、田中滯美、星田唯史、西田升三
- P1-128 CML における HIF- $\alpha$  阻害剤による細胞死誘導機構の解析  
(近畿大薬) ○臼杵祐真、椿 正寛、武田朋也、竹藤帆花、滝本航大、尾花輝樹、西田升三
- P1-129 DMF による TNBC での NF- $\kappa$ B 経路阻害を介したアポトーシス誘導機序の解明  
(近畿大薬) ○片山翔太、椿 正寛、武田朋也、竹藤帆花、滝本航大、尾花輝樹、西田升三
- P1-130 YAP 経路を介した肺がんにおける転移機構の解析  
(近畿大薬) ○富田佳那、椿 正寛、武田朋也、田中滯美、星田唯史、西田升三
- P1-131 海馬顆粒神経細胞変性後の神経幹・前駆細胞に対する PAR-1 阻害薬の脳室内投与の影響  
(摂南大薬) ○森重幸紀、尾中勇祐、山口太郎、米山雅紀
- P1-132 網膜色素変性症モデルマウスにおける視細胞障害に対するグルコーストランスポーター阻害薬の保護作用  
(摂南大薬) ○石丸侑希、種村宙夢、吉田未来也、吉岡靖啓

- P1-133 末梢神経障害の機序解明を目的とした新規有髄性感覚神経オルガノイド  
(<sup>1</sup>京大薬、<sup>2</sup>和歌山県医大薬、<sup>3</sup>京大病院薬、<sup>4</sup>シャープ・パネルセミコン研究所、<sup>5</sup>和歌山県医大薬) ○荻堂亮甫<sup>1</sup>、小柳円花<sup>2</sup>、守屋茜里<sup>1</sup>、西郷雅美子<sup>3</sup>、井樋田悟史<sup>4</sup>、寺西知子<sup>4</sup>、松原和夫<sup>5</sup>、寺田智祐<sup>3</sup>、山下 哲<sup>2</sup>、今井哲司<sup>2,3</sup>
- P1-134 ミトコンドリア  $K_{ATP}$  チャンネルを介した  $K^+$ 緩衝作用と脱分極の抑制作用の可能性  
(摂南大薬) ○尾松果奈、原友凜亜、渡辺夏楓、金城俊彦、宇野恭介、倉本展行
- P1-135 背側縫線核セロトニン神経の活性化は悲観的な意思決定を改善した  
(<sup>1</sup>京大院薬、<sup>2</sup>京大院医、<sup>3</sup>九大院薬、<sup>4</sup>金沢大院医薬保) ○野口拓馬<sup>1</sup>、金子周司<sup>1,2,3</sup>、白川久志<sup>1</sup>、永安一樹<sup>1</sup>、安藤千紘<sup>1</sup>、渋井紀宏<sup>1</sup>、高山海都<sup>1</sup>、西谷直也<sup>4</sup>
- P1-136 当帰四逆加呉茱萸生姜湯及び桂枝茯苓丸がマウスの行動試験に与える影響について  
(姫路獨協大薬) ○中島穂香、若林千里
- P1-137 小児 MLL 関連白血病細胞株に対する BRD4 および CBP/p300 阻害併用時における CBP/p300 阻害作用機序別の細胞増殖抑制効果の比較  
(<sup>1</sup>京大病院薬、<sup>2</sup>京大院薬、<sup>3</sup>京都薬大) ○山本京奈<sup>1,2</sup>、今吉菜月<sup>1</sup>、幾田慧子<sup>1</sup>、勝部友理恵<sup>1</sup>、重面雄紀<sup>1</sup>、平 大樹<sup>1</sup>、中川俊作<sup>1</sup>、津田真弘<sup>1,2</sup>、芦原英司<sup>3</sup>、寺田智祐<sup>1</sup>
- P1-138 老齢マウスにおけるマイオスタチン阻害ペプチドの筋肥大効果に対する投与量依存性の解析  
(京都薬大) ○和田哲也、西川美里、森戸克弥、長澤一樹、高山健太郎
- P1-139 トマト由来アルカロイド Tomatidine が一過性全脳虚血モデルマウスの認知機能低下と神経障害へ与える影響の解析  
(摂南大薬) ○村上明義、田村静音、島岡拓央、川出佑香、山崎美渚、喜多絢海、荒木良太、矢部武士
- P1-140 血管性認知障害における TRPA1 作動薬の用量依存的な保護作用とその機序  
(<sup>1</sup>京大院薬、<sup>2</sup>和医大薬) ○川下綾香<sup>1</sup>、抱 将史<sup>1,2</sup>、小野木晴哉<sup>1</sup>、永安一樹<sup>1</sup>、金子周司<sup>1</sup>、白川久志<sup>1</sup>
- P1-141 ルーミング刺激に対するマウスの逃避行動による視覚解析 —ルーミング刺激実験の条件検討—  
(<sup>1</sup>立命館大生命、<sup>2</sup>立命館大院薬、<sup>3</sup>株式会社ビジョンケア、<sup>4</sup>立命館大薬、<sup>5</sup>システム視覚科学研究センター) ○橋尾阿姫<sup>1</sup>、前田隼希<sup>2</sup>、中村俊哉<sup>2</sup>、首藤浩伸<sup>2,3</sup>、小池千恵子<sup>2,4,5</sup>
- P1-142 慢性ストレス負荷が脳血管内皮細胞の乳酸トランスポーター MCT1 と脳内乳酸量へ及ぼす影響の解析  
(摂南大薬) ○石原花楓、梁 亜衣、東 桃姫、西浦小姫、新関由佳、上村凌太、喜多絢海、荒木良太、矢部武士
- P1-143 細胞外 pH がラット由来培養神経幹細胞の増殖および分化へ及ぼす影響の解析  
(摂南大薬) ○鳴澤智行、上村凌太、田村美空、喜多絢海、荒木良太、矢部武士
- P1-144 フルオロクエン酸投与によるアストロサイト不活性化モデルの作成  
(大阪医薬大薬) ○後藤光佑、國澤直史、江原 滢、河田千佳、清水佐紀、大野行弘
- P1-145 ニコチンによる運動興奮症状発現におけるアストロサイト活性化の役割  
(大阪医薬大薬) ○河田千佳、國澤直史、後藤光佑、江原 滢、清水佐紀、大野行弘
- P1-146 抗 SARS-CoV-2 を標的とした化合物探索  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>山梨大医) ○馬場麻有子<sup>1</sup>、角谷廣智<sup>1</sup>、田中智久<sup>2</sup>、森石恆司<sup>2</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>

- P1-147 遺伝性および高脂肪食摂取による 2 型糖尿病モデルマウスにおける有痛性末梢神経障害に対する thrombomodulin alfa の抑制効果 —HMGB1 と補体 C5a の不活性化が関与する可能性について—  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>岡山大院医歯薬) ○佐久間海地<sup>1</sup>、中野 遥<sup>1</sup>、大東麻哉<sup>1</sup>、岩根詩織<sup>1</sup>、坪田真帆<sup>1</sup>、関口富美子<sup>1</sup>、友野靖子<sup>2</sup>、西堀正洋<sup>2</sup>、川畑篤史<sup>1</sup>
- P1-148 高脂肪食摂取による 2 型糖尿病モデルマウスにおける有痛性末梢神経障害の発現には HMGB1、マクロファージおよび血小板が関与する  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>岡山大院医歯薬) ○大東麻哉<sup>1</sup>、中野 遥<sup>1</sup>、佐久間海地<sup>1</sup>、岩根詩織<sup>1</sup>、坪田真帆<sup>1</sup>、関口富美子<sup>1</sup>、友野靖子<sup>2</sup>、西堀正洋<sup>2</sup>、川畑篤史<sup>1</sup>
- P1-149 CD8<sup>+</sup> T 細胞に発現する  $\alpha 7$  ニコチン性 ACh 受容体は細胞傷害性を促進する  
(同志社女大薬) ○柴田真佑、金谷真優、五十嵐萌、森脇友里葉、尾田和夢、高松雅美、野村篤生、間下雅士、小野史郎、藤井健志
- P1-150 ピリジニウム型フラーレン誘導体の原発性滲出性リンパ腫(PEL)に対する細胞増殖抑制効果  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>日本医大、<sup>3</sup>慶應大薬) ○河瀬 順<sup>1</sup>、聳城実沙<sup>1</sup>、門田彩乃<sup>1</sup>、原 尚子<sup>1</sup>、森口美里<sup>1</sup>、中村成夫<sup>2</sup>、安野拓実<sup>3</sup>、大江知之<sup>3</sup>、増野匡彦<sup>3</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>
- P1-151 喘息の気道リモデリングの形成における cyclin dependent kinase (CDK) 8/19 の役割 —CDK8/19 阻害薬は 2 型自然リンパ球の活性化を制御することにより気道リモデリングを抑制する—  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>京都大医生物学研、<sup>3</sup>大阪大免疫学フロンティア研究セ) ○藤原佑菜<sup>1</sup>、松尾京香<sup>1</sup>、米澤郁也<sup>1</sup>、霜良勇人<sup>1</sup>、三上統久<sup>2,3</sup>、川上竜司<sup>2,3</sup>、坂口志文<sup>2,3</sup>、松田将也<sup>1</sup>、北谷和之<sup>1</sup>、奈邊 健<sup>1</sup>
- P1-152 B 型肝炎ウイルス様粒子(VLP)を用いた肝特異的薬物送達キャリアの作製  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>阪大院医) ○高山愛理<sup>1</sup>、酒井智帆<sup>1</sup>、堀田真梨<sup>1</sup>、祝迫佑紀<sup>1</sup>、上田啓次<sup>2</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>
- P1-153 マイオスタチン阻害ペプチドのマウス筋肉内投与による筋肥大に伴う筋分化マーカーの発現変動解析  
(京都薬大) ○西川奈津希、玉木理菜、西川美里、和田哲也、森戸克弥、長澤一樹、高山健太郎
- P1-154 日米レセプトデータ解析による医薬品処方実態の比較調査研究  
(<sup>1</sup>京大院薬、<sup>2</sup>京大院医、<sup>3</sup>九大院薬) ○鈴木崇英<sup>1</sup>、栢沼 玄<sup>1</sup>、古田晴香<sup>1</sup>、山本浩貴<sup>1</sup>、永安一樹<sup>1</sup>、白川久志<sup>1</sup>、金子周司<sup>1,2,3</sup>
- P1-155 アレルゲン免疫療法の効果発現における抗原特異的 IgG1 の役割 —2 型自然リンパ球(ILC2) 増殖に対する抑制効果に着目して—  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>鳥居薬品) ○森下 桃<sup>1</sup>、松尾京香<sup>1</sup>、平野あすか<sup>1</sup>、土井雅津代<sup>2</sup>、松田将也<sup>1</sup>、北谷和之<sup>1</sup>、奈邊 健<sup>1</sup>
- P1-156 Tr1 細胞由来エクソソーム(Tr1-EXO) のアレルギー抑制効果 —2 型自然リンパ球(ILC2) の活性化に対する効果—  
(摂南大薬) ○渡邊真理、西馬俊祐、松田将也、北谷和之、奈邊 健
- P1-157 ステロイド抵抗性喘息の発症機序の解析 —2 型自然リンパ球(ILC2) のステロイド抵抗性獲得における Janus kinase (JAK) の関与—  
(摂南大薬) ○中山幸子、霜良勇人、松田将也、北谷和之、奈邊 健

## 【衛生化学部会】

- P1-158 ヒト脳血管内皮細胞の密着結合に対するメチルグリオキサール及びL-テアニンの影響  
(大阪医薬大薬) ○加藤貴子、佐久間覚、奥平桂一郎
- P1-159 緑茶カテキンによる血管内皮細胞のバリア機能の保護効果  
(<sup>1</sup>立命館大薬、<sup>2</sup>立命館大院薬) ○若杉里央<sup>1</sup>、石井沙樹<sup>1</sup>、上村宏一<sup>2</sup>、鈴木健二<sup>1,2</sup>、河野貴子<sup>1,2</sup>
- P1-160 天然イソチオシアネート化合物 Erysolin による抗肥満効果の検討  
(大阪医薬大薬) ○服部菜々美、横井佑軌、武田治樹、羽瀧康容、楠本嵩志、佐久間覚、奥平桂一郎
- P1-161 ビタミンK変換酵素 UBIAD1 欠損マウスを用いた脂肪組織におけるビタミンKの機能解析  
(<sup>1</sup>神戸学院大薬、<sup>2</sup>神戸学院大院薬) ○名倉萌々花<sup>1</sup>、堀米梨花<sup>1</sup>、佐伯萌佳<sup>1</sup>、平島俊亮<sup>2</sup>、中川公恵<sup>1,2</sup>
- P1-162 炎症誘発におけるトランス脂肪酸の影響  
(摂南大薬) ○石川愛実、角谷秀樹、杠 智博、中尾晃幸
- P1-163 ビタミンK変換酵素 UBIAD1 の活性に対する HMG-CoA 還元酵素阻害剤およびビタミンK類縁体の相互作用解析  
(<sup>1</sup>神戸学院大薬、<sup>2</sup>神戸学院大院薬) ○遠藤暉大<sup>1</sup>、濱出愛海<sup>1</sup>、中上結捺<sup>1</sup>、西野仁章<sup>1</sup>、平島俊亮<sup>2</sup>、中川公恵<sup>1,2</sup>
- P1-164 日焼け止めクリームによるアレルギー反応抑制作用の評価  
(摂南大薬) ○松本望歩、角谷秀樹、杠 智博、中尾晃幸
- P1-165 琵琶湖、淀川及び吉野川の有機フッ素化合物 (PFAS) による水質汚染調査  
(摂南大薬) ○松本梨太郎、角谷秀樹、杠 智博、中尾晃幸
- P1-166 劣化したマイクロプラスチックの細胞内取り込み機構の解明に向けた検討  
(<sup>1</sup>阪大薬、<sup>2</sup>阪大院薬、<sup>3</sup>阪大博物館、<sup>4</sup>阪大先導、<sup>5</sup>阪大高等共創研、<sup>6</sup>阪大 MEI セ) ○出原若葉<sup>1</sup>、芳賀優弥<sup>2</sup>、辻野博文<sup>2,3</sup>、生野雄大<sup>2</sup>、真鍋颯太<sup>1</sup>、浅原時泰<sup>2,4</sup>、東阪和馬<sup>2,5</sup>、堤康央<sup>2,3,6</sup>
- P1-167 絨毛外性栄養膜細胞 HTR-8/SVneo の遊走へのビスフェノール A の影響  
(<sup>1</sup>摂南大理工、<sup>2</sup>摂南大薬) ○阿部令菜<sup>1</sup>、小串祥子<sup>2</sup>、中村武浩<sup>2</sup>、中嶋義隆<sup>1</sup>、木村朋紀<sup>2</sup>
- P1-168 Forskolin 誘導性の BeWo 細胞合胞体化過程に対するバルプロ酸の影響評価  
(<sup>1</sup>阪大薬、<sup>2</sup>阪大高等共創研、<sup>3</sup>阪大院薬、<sup>4</sup>阪大 MEI セ、<sup>5</sup>阪大先導) ○奥野和香子<sup>1</sup>、東阪和馬<sup>2,3</sup>、小林純大<sup>3</sup>、謝 燕坤<sup>3</sup>、村中瑞希<sup>1</sup>、芳賀優弥<sup>3</sup>、堤 康央<sup>3,4,5</sup>
- P1-169 白血病細胞株 HL60 の分化へのビスフェノール A の影響  
(<sup>1</sup>摂南大理工、<sup>2</sup>摂南大薬) ○谷向翔一郎<sup>1</sup>、小串祥子<sup>2</sup>、中村武浩<sup>2</sup>、中嶋義隆<sup>1</sup>、木村朋紀<sup>2</sup>
- P1-170 カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスの NEC 関連タンパク ORF67 の機能解析  
(京都薬大) ○中森悠佳、祝迫佑紀、藤室雅弘
- P1-171 ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の PPARs 活性化作用について  
(摂南大薬) ○海老原歩、杠 智博、角谷秀樹、中尾晃幸

- P1-172 カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスがコードするプライマーゼ関連因子(PAF)の機能解析  
(京都薬大) ○高田まり菜、祝迫佑紀、藤室雅弘
- P1-173 ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤が肝星細胞の活性化に及ぼす影響  
(摂南大薬) ○松尾祐奈、杠 智博、角谷秀樹、中尾晃幸
- P1-174 B型肝炎ウイルス由来スパイク分子を有した小胞 (HBV-VLP) を用いた肝特異的薬物送達  
キャリアの開発  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>阪大院医) ○榎本美咲<sup>1</sup>、酒井智帆<sup>1</sup>、布藤愛望<sup>1</sup>、堀田真梨<sup>1</sup>、祝迫佑紀<sup>1</sup>、  
上田啓次<sup>2</sup>、藤室雅弘<sup>1</sup>

一般学術講演（ポスター発表）P2 会場：2 階廊下

貼付時間：10:30～12:00 示説時間：奇数番号 13:50～15:10

偶数番号 15:10～16:30

【有機化学部会】

- P2-001 *N*-アリルヒドラゾンの C-H 官能基化を利用した酸化的環化反応  
(<sup>1</sup>神戸薬大、<sup>2</sup>阪公大院理) ○一文字彩乃<sup>1</sup>、武田紀彦<sup>1</sup>、安井基博<sup>1</sup>、松原 浩<sup>2</sup>、上田昌史<sup>1</sup>
- P2-002  $\alpha$  位に芳香環を有するニトロキシラジカルの合成と触媒活性評価  
(京都薬大) ○大霜彩乃、浜田翔平、松田彩花、古賀貴裕、阪本圭織、小林祐輔、古田 巧
- P2-003 金触媒ヘテロ環化反応：3,1-ベンゾオキサジン-4-オン合成  
(武庫川女大薬) 阿部将大、○高野真衣、水上玲穂、來海徹太郎、稲本浄文
- P2-004 キラル相間移動触媒を用いた 2-フェニルプロピオン酸エステルの不斉加水分解  
(同志社女大薬) 川崎みどり、○木村 心、山本莉奈、渡辺香奈、八塚研治、白井隆一
- P2-005 カルコゲン結合を持つロジウム二核錯体の合成と第二級アルコールの位置選択的アルキル化の検討  
(京都薬大) ○中村優希、三上紋加、松山千夏、井上拓美、浜田翔平、小林祐輔、古田 巧
- P2-006 ジアゾフリーな還元的 O-H 挿入反応の開発：ヒドロキサム酸の修飾  
(神戸薬大) ○増井絢音、武田紀彦、安井基博、上田昌史
- P2-007 不活性アルケンの光アジリジン化反応の開発  
(京都薬大) ○上田 敬、小林祐輔、浜田翔平、古田 巧
- P2-008 光学活性 Z 型配位子含有パラジウム触媒を用いた不斉アリル位アルキル化反応  
(神戸学院大薬) ○高橋 暉、柴田隆史、内藤大輔、村上 遼、稲垣冬彦
- P2-009 亜鉛イオン応答型光分解性保護基の開発研究  
(<sup>1</sup>大阪医薬大薬、<sup>2</sup>医科歯科大生材研) ○大間知佳斗<sup>1</sup>、阪本健太郎<sup>1</sup>、高野乃真子<sup>1</sup>、安田大輔<sup>1</sup>、影近弘之<sup>2</sup>、平野智也<sup>1</sup>
- P2-010 D-プシコースから調製したチオグリコシドを用いたプシコピラノシル化反応の開発  
(<sup>1</sup>大阪大谷大薬、<sup>2</sup>京都薬大) ○中澤郁美<sup>1</sup>、有光健治<sup>1</sup>、岩崎宏樹<sup>2</sup>、広川美視<sup>1</sup>、前崎直容<sup>1</sup>
- P2-011 ホスファゼン塩基触媒によるアルケンの分子内ヒドロアルコキシ化反応  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>近畿大薬) ○川本実侑<sup>1</sup>、山下法子<sup>1</sup>、宮脇あかり<sup>1</sup>、松岡純平<sup>2</sup>、山本康友<sup>1</sup>
- P2-012 ジアゼンのフラグメンテーションを基盤とする炭素-炭素結合形成法の開発  
(神戸薬大) ○岩本彩佳、安井基博、武田紀彦、上田昌史
- P2-013 イリジウム触媒を用いたスルホニル基転移を伴う環化異性化反応 —3-スルホニルインドールの合成—  
(<sup>1</sup>阪大薬、<sup>2</sup>阪大院薬) ○葉山歩実<sup>1</sup>、仇 稼イ<sup>2</sup>、田中 健<sup>1</sup>、佐古 真<sup>2</sup>、村井健一<sup>2</sup>、有澤光弘<sup>2</sup>

- P2-014 ケトンへの窒素導入型還元反応の開発  
(近畿大理工) ○清永匠哉、阪倉翔太、兵藤憲吾
- P2-015 1,5-水素原子移動を活用した位置選択的ジアゼニル化反応の開発  
(武庫川女大薬) 阿部将大、○片岡あいる、平田 葵、矢野渚紗、水上玲穂、來海徹太郎、稲本浄文
- P2-016 有機光触媒を用いたアニリン及びインドール類へのジフルオロアルキルエステル導入反応  
(立命館大薬) ○東野孝則、兒玉一希、小邨悠馬、菊嶋孝太郎、土肥寿文
- P2-017 パラジウム触媒ヘテロ環化反応による 7 員環骨格構築法の開発 —ベンゾオキサゼピノン合成—  
(武庫川女大薬) 阿部将大、○川元仁歩、水上玲穂、來海徹太郎、稲本浄文
- P2-018 薬用ラン由来天然物の Friedel-Crafts アルキル化を介した位置分岐的合成  
(<sup>1</sup>神戸大院農、<sup>2</sup>神戸大農) 姜 法雄<sup>1</sup>、丈達唯花<sup>1</sup>、○山本彩加<sup>2</sup>
- P2-019 *N*-(アリアルアミノ)ラクタムの[3,3]-シグマトロピー転位反応の開発  
(神戸薬大) ○泉田真緒、武田紀彦、安井基博、上田昌史
- P2-020 1,5-水素原子移動を伴う Minisci 型アルキル化反応の開発  
(武庫川女大薬) 阿部将大、○松岡由芽乃、水上玲穂、來海徹太郎、稲本浄文
- P2-021 親水性官能基を有する分子酸触媒の開発  
(近畿大理工) ○樋代壮平、細石小百合、兵藤憲吾
- P2-022 亜塩素酸塩を用いた非水条件下スルフィド酸化における酸化制御  
(<sup>1</sup>阪大薬、<sup>2</sup>阪大院薬、<sup>3</sup>阪大先導的学際研、<sup>4</sup>阪大高等共創研) ○小形柊斗<sup>1</sup>、浅原時泰<sup>2,3</sup>、板橋勇輝<sup>3</sup>、大久保敬<sup>3,4</sup>、井上 豪<sup>2,3</sup>
- P2-023 ナトリウム分散体によるハロゲン化ベンジルの還元的二量化反応の開発  
(<sup>1</sup>神戸大院農、<sup>2</sup>阪公大院理) 姜 法雄<sup>1</sup>、○今村達朗<sup>1</sup>、佐藤哲也<sup>2</sup>
- P2-024 マルチタスクロジウム触媒を用いた 2,3-2 置換ベンゾフランの合成 —チェーンウォーキング/環化異性化/芳香族化反応—  
(<sup>1</sup>阪大薬、<sup>2</sup>阪大院薬) ○永渕桃子<sup>1</sup>、佐藤祐太<sup>2</sup>、佐古 真<sup>2</sup>、村井健一<sup>2</sup>、有澤光弘<sup>2</sup>
- P2-025 空気酸化による四員環複素環合成法の開発：ベンゾチアゼチジン合成  
(武庫川女大薬) 阿部将大、○藤田真希、水上玲穂、來海徹太郎、稲本浄文
- P2-026 イミン誘導体のダブル環化反応を利用したスピロジヘテロ環構築法の開発  
(神戸薬大) ○齋藤大輔、武田紀彦、松崎大力、安井基博、上田昌史
- P2-027 アルキンを有する *O*-ビニルオキシムの環化反応による 3-ヒドロキシ-2,4,6-三置換ピリジン合成  
(神戸薬大) ○阪本海人、安井基博、井實果穂、武田紀彦、上田昌史
- P2-028 5 位にハロゲン原子を有するアルコールが置換した  $\gamma$ -ラクトン誘導体の合成法に関する検討  
(<sup>1</sup>武庫川女大薬、<sup>2</sup>京都薬大、<sup>3</sup>長崎国際大薬) 松本卓也<sup>1</sup>、○岡崎紗耶<sup>1</sup>、青木朱衣<sup>1</sup>、仁木亜弥<sup>1</sup>、佐々裕隆<sup>1</sup>、岩崎宏樹<sup>2</sup>、小関 稔<sup>1</sup>、山下正行<sup>2</sup>、小島直人<sup>3</sup>、川崎郁勇<sup>1</sup>
- P2-029 Claisen 転位環化カスケードを経る 3-スタニル-2*H*-クロメンの短工程合成  
(<sup>1</sup>神戸大院農、<sup>2</sup>神戸大農) 内田裕一郎<sup>1</sup>、○高原洗介<sup>2</sup>、姜 法雄<sup>1</sup>

- P2-030 Rancinamycin Ia の合成研究  
(大阪医薬大薬) ○馬場 輝、葉山 登、米山弘樹、宇佐美吉英
- P2-031 *c*-Met 阻害活性を示す[3.3] (2,2') (4,4'-bithiazolopane) の合成条件の検討  
(神戸学院大薬) ○松鶴 明、瀧本竜哉、日置和人
- P2-032 次亜塩素酸ナトリウム五水和物を利用したベンゾイソチアゾリノンおよびサッカリン類の合成  
(近畿大薬) 中村 光、○林 真由、中谷彩乃、松岡純平、前川智弘
- P2-033 超原子価ヨードニウム塩を用いる芳香族スルホニウム塩の合成  
(立命館大薬) ○畑河内凌、要藤友佑、入江悠斗、林 巧実、土肥寿文
- P2-034 キラルスルホンアミドを用いた光学分割-置換プロセスによるキラルリン化合物の合成  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>近畿大薬) ○松本彩聖<sup>1</sup>、神原裕梨佳<sup>1</sup>、山田彩也加<sup>1</sup>、村田実紅<sup>1</sup>、中本瑞貴<sup>1</sup>、中井さくら<sup>1</sup>、石浦朋恵<sup>1</sup>、宮脇あかり<sup>1</sup>、松岡純平<sup>2</sup>、山本康友<sup>1</sup>
- P2-035 光学活性ラダー型オリゴナフタレンの合成  
(<sup>1</sup>京府大生命環境、<sup>2</sup>京府大院生命環境、<sup>3</sup>近大院理工) ○佐倉未彩<sup>1</sup>、野田駿介<sup>2</sup>、木元隆裕<sup>3</sup>、岡田啓汰<sup>3</sup>、今井喜胤<sup>3</sup>、今吉亜由美<sup>2</sup>、椿 一典<sup>2</sup>
- P2-036 分子内不斉 Heck 反応を用いた(+)-dichroanal A の全合成研究  
(<sup>1</sup>武庫川女大薬、<sup>2</sup>京都薬大、<sup>3</sup>長崎国際大薬) 小関 稔<sup>1</sup>、○斉藤雅弥<sup>1</sup>、福田可南子<sup>1</sup>、鈴木梨佳子<sup>1</sup>、山北美憂<sup>1</sup>、松本卓也<sup>1</sup>、佐々裕隆<sup>1</sup>、仁木亜弥<sup>1</sup>、岩崎宏樹<sup>2</sup>、小島直人<sup>3</sup>、川崎郁勇<sup>1</sup>
- P2-037 生体分子の固定化を目指した光酸化グラフェンの機能化  
(<sup>1</sup>阪大院薬、<sup>2</sup>阪大先導的学際研) ○藤森大志<sup>1</sup>、浅原時泰<sup>1,2</sup>、井上 豪<sup>1,2</sup>
- P2-038 ベンズオキサジンの骨格変換反応を利用する 4-アミノキノリン誘導体の新規合成法の開発  
(武庫川女大薬) 青木朱衣、○山田紗妃、松本卓也、佐々裕隆、小関 稔、川崎郁勇
- P2-039 ヒドラゾンの  $\alpha$  位での極性転換を利用したインドール誘導体合成  
(神戸薬大) ○友田陽菜、武田紀彦、安井基博、上田昌史
- P2-040 ハロタンから生じる求電子アルケンを利用した含フッ素化合物の合成法の開発  
(摂南大薬) ○軽尾友紀子、赤松由圭里、樽井 敦、佐藤和之、河合健太郎、表 雅章
- P2-041 P4 塩基触媒によるエノラートの分子内アルケンへの付加を鍵とするリグナン類の合成研究  
(<sup>1</sup>同志社女大薬、<sup>2</sup>近畿大薬) ○二階堂瑛紀<sup>1</sup>、野田尾萌花<sup>1</sup>、宮脇あかり<sup>1</sup>、松岡純平<sup>2</sup>、山本康友<sup>1</sup>
- P2-042 カルコゲン置換フルオレセインの合成及び機能評価 一色素合成一  
(京府大院生命環境) ○割石萌々夏、今吉亜由美、椿 一典
- P2-043 サリチルアルデヒドとビニルスルホンの縮合による 3-スルホニル-2*H*-クロメン形成条件の改良  
(<sup>1</sup>神戸大院農、<sup>2</sup>神戸大農、<sup>3</sup>阪公大院理) 姜 法雄<sup>1</sup>、○野崎哲平<sup>2</sup>、佐藤哲也<sup>3</sup>
- P2-044 フッ素置換を有するパンテテイン誘導体の開発と vanin-1 阻害作用の構造活性評価  
(<sup>1</sup>大阪医薬大薬、<sup>2</sup>大阪医薬大医) ○北村育子<sup>1</sup>、米山弘樹<sup>1</sup>、細畑圭子<sup>1</sup>、金 徳男<sup>2</sup>、高井真司<sup>2</sup>、葉山 登<sup>1</sup>、宇佐美吉英<sup>1</sup>

- P2-045 カルコゲン結合により配座制御されたウレア誘導体の立体構造と物性  
(京都薬大) ○網島 唯、井上拓美、太田萌絵、森田名美、浜田翔平、小林祐輔、古田 巧
- P2-046 サラシノール型チオ糖スルホニウム塩構造を基盤とするガラクトシダーゼ阻害剤の合成研究  
(近畿大薬) ○古部聖也、田邊元三、石川文洋、高島克輝
- P2-047 Buforin II をモデルとしたジ置換アミノ酸導入膜透過性ペプチドの創製と評価  
(大阪医薬大薬) ○金延彩太、加藤巧馬、浅野晶子、土井光暢
- P2-048 光に応答して二次構造が変化するペプチドの合成  
(<sup>1</sup>京医大院医、<sup>2</sup>長崎大院医歯薬) ○仲 朔来<sup>1</sup>、久壽米木直弥<sup>2</sup>、上田篤志<sup>2</sup>、田中正一<sup>2</sup>、武元宏泰<sup>1</sup>、大庭 誠<sup>1</sup>
- P2-049 原核生物の蛋白質分解系を攪乱するアシルデプシペプチドの構造活性相関研究：代謝安定型高活性アシルデプシペプチド誘導体の創製  
(近畿大薬) 石川文洋、○今井嵩友、正林直人、秋永修佑、大西利奈、内田千春、田邊元三
- P2-050 ヒト血清中アピラテロンの未知代謝物の同定と合成  
(<sup>1</sup>大阪医薬大薬、<sup>2</sup>武庫川女大薬、<sup>3</sup>武庫川女大バイオサイエンス研) ○西由紀菜<sup>1</sup>、葉山登<sup>1</sup>、堀山志朱代<sup>2</sup>、矢田麻奈衣<sup>1</sup>、米山弘樹<sup>1</sup>、萩中 淳<sup>3</sup>、宇佐美吉英<sup>1</sup>
- P2-051 再生医療における足場材料への応用を企図したポリ乳酸 (PLA) の表面改質  
(<sup>1</sup>阪大院薬、<sup>2</sup>阪大先導学際研、<sup>3</sup>NIMS) ○大塚奈々<sup>1</sup>、浅原時泰<sup>1,2</sup>、西口昭広<sup>3</sup>、田口哲志<sup>3</sup>、井上 豪<sup>1,2</sup>
- P2-052 C18AA をモデルとしたジ置換アミノ酸導入膜透過性ペプチドの合成と評価  
(大阪医薬大薬) ○大深 豪、小林遼太、加藤巧馬、浅野晶子、土井光暢
- P2-053 ワンポット *S,O*-グリコシド結合形成反応を鍵とした clanthoside 誘導体の合成およびその HFDPIC 増殖促進作用評価  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>近畿大共同利用セ、<sup>3</sup>近畿大薬総研) ○鈴木璃子<sup>1</sup>、高島克輝<sup>1</sup>、丸本真輔<sup>2</sup>、石川文洋<sup>1</sup>、萬瀬貴昭<sup>3</sup>、森川敏生<sup>3</sup>、田邊元三<sup>1,3</sup>

## 【分析化学部会】

- P2-054 プロパルギル化シリカを用いる糖タンパク質の特異的回収に関する研究  
(近畿大薬) ○渡部和馬、山本佐知雄、木下充弘
- P2-055 シアル酸結合様式特異的アミド化による糖鎖の分析能向上に関する研究  
(近畿大薬) ○椛本美樹、山本佐知雄、木下充弘
- P2-056 標的指向化微細気泡の安定化を目的としたフッ素化ペプチド脂質の合成と物性評価  
(<sup>1</sup>武庫川女大薬、<sup>2</sup>ストラスブール大学) ○吉川里依<sup>1</sup>、原 史子<sup>1</sup>、高田慎也<sup>1</sup>、Krafft Mari-Pieer<sup>2</sup>、萩森政頼<sup>1</sup>
- P2-057 硫黄化したヒノキチオール/亜鉛錯体の合成とマウス皮膚移行性の検討  
(<sup>1</sup>神女大院健康栄養、<sup>2</sup>京都薬大) ○鎌田愛莉<sup>1</sup>、安井裕之<sup>2</sup>、吉川 豊<sup>1</sup>
- P2-058 活性酸素種 (ROS) のシグナル伝達機能解明に向けた、高 ROS 消去サイトグロビン変異体の創製  
(<sup>1</sup>阪大院薬、<sup>2</sup>和歌山県立医大薬、<sup>3</sup>武庫川女大薬、<sup>4</sup>阪大高等共創研、<sup>5</sup>阪大 MEI セ、<sup>6</sup>阪大博物館) ○西田朱里<sup>1</sup>、長野一也<sup>2</sup>、山下 沢<sup>3</sup>、芳賀優弥<sup>1</sup>、東阪和馬<sup>1,4</sup>、堤 康央<sup>1,5</sup>、辻野博文<sup>1,6</sup>

- P2-059 カチオン性両親媒性薬物処置に伴って増減する培養細胞中ホスファチジルイノシトールの分子構造の推定 —LC-QTOF MS を用いた疎水性尾部を構成する脂肪酸の構造解析—  
(武庫川女大薬) ○井原美玖、濱口良平、黒田幸弘
- P2-060 イメージング質量分析 (IMS) を用いた生薬中の指標成分の分布分析 —ミカン科の生薬枳実、陳皮について—  
(神戸学院大薬) ○坂口紘基、鳥井大靖、梶佐古来良、長石祥平、平野裕之、山原 弘
- P2-061 5 残基ペプチド GSGFK とアミロイド  $\beta$  25-35 とのドッキングシミュレーション  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>高知大医、<sup>3</sup>O-force) ○福澤涼平<sup>1</sup>、長澤良亮<sup>1</sup>、中村里菜<sup>2,3</sup>、秋澤俊史<sup>2,3</sup>、小西元美<sup>1</sup>
- P2-062 5 残基ペプチド GSEFR とアミロイド  $\beta$  1-20 とのドッキングシミュレーション  
(<sup>1</sup>摂南大薬、<sup>2</sup>高知大医、<sup>3</sup>O-force) ○松浦佑樹<sup>1</sup>、中村里菜<sup>2,3</sup>、秋澤俊史<sup>2,3</sup>、小西元美<sup>1</sup>
- P2-063 *Watasenia scintillans* が産生するグリコサミノグリカンの分析  
(立命館大薬) ○落畑咲希、久内基正、山本真愛、木本広海、平井達也、豊田亜希子、泉川友美、豊田英尚
- P2-064 アルツハイマー病患者由来 iPS 細胞が産生するグリコサミノグリカンの分析  
(立命館大薬) ○櫻木響己、藤原裕吾、斉藤 萌、豊田亜希子、泉川友美、豊田英尚
- P2-065 ヒト iPS 細胞が産生するプロテオグリカンの LC-MS/MS を用いた分析  
(立命館大薬) ○金田咲良、伊藤穂佳、藤原裕吾、泉川友美、豊田英尚
- P2-066 糖鎖を含む医薬品の微量分析法の確立とグリコサミノグリカン製剤への応用  
(立命館大薬) ○藤原裕吾、望月香奈江、丸山 陽、豊田亜希子、泉川友美、豊田英尚

## 【物理化学部会】

- P2-067 多孔質フッ化炭素ポリマー膜上での蛍光分子の蛍光消失から見出された自己組織化によるヒトインスリンのアミロイド線維形成  
(東京理大薬) ○三ツ谷健吾、後藤 了、黒澤祐哉、木村里彩、古賀遼太郎、槌田智裕
- P2-068 ケトプロフェンの光分解反応に対するシクロデキストリンの速度論的効果 —反応溶液因子に着目した解析—  
(東京理大薬) ○弘重諒介、黒田千尋、奥村勇太、槌田智裕、後藤 了
- P2-069 クリスタルエンジニアリングに基づくインドメタシンナノ点眼製剤の開発 —物性測定と Ocular Bioavailability の評価—  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>おかもと眼科、<sup>3</sup>慶應大薬、<sup>4</sup>Gujarat Technological University) ○曾谷月香<sup>1</sup>、増田柁也<sup>1</sup>、矢野詩歩<sup>1</sup>、田所朋久<sup>1</sup>、大竹裕子<sup>1</sup>、岡本紀夫<sup>2</sup>、中澤洋介<sup>3</sup>、Misra Manju<sup>4</sup>、長井紀章<sup>1</sup>
- P2-070 タンパク質コロナ形成に及ぼすナノ粒子の表面配位子と配位子交換過程 —蛍光共鳴エネルギー移動を用いた定量解析—  
(神戸学院大薬) ○新垣 凜、黒井邦巧、藤井文彦
- P2-071 ナノ粒子の安定性に及ぼす粒子形状と表面配位子  
(神戸学院大薬) ○梅村侑加、黒井邦巧、藤井文彦
- P2-072 形質膜ホスファチジルセリンの組成制御機構  
(京都薬大) ○越智彩乃、長尾耕治郎、斎藤博幸

- P2-073 カイロミクロンタンパク質 apoA-IV の N 末フラグメントは強いアミロイド凝集特性を有する  
(京都薬大) ○北川裕一朗、内藤禎人、南波憲宏、扇田隆司、斎藤博幸
- P2-074 ドッキングシミュレーションをベースにした脂肪酸受容体に対する脂肪酸誘導体の網羅的  
活性予測  
(京大院薬) ○小島湧斗、西村伸大、森谷祈立、平澤 明
- P2-075 リポカリン型プロスタグランジン D 合成酵素 (L-PGDS) の反応生成物の認識メカニズム解  
明 ―変異体 L-PGDS と反応生成物との相互作用解析による認識関与部位の解明―  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大薬、<sup>3</sup> 近大理工) ○青柳皓大<sup>1</sup>、太田宗一郎<sup>2</sup>、山本享弥<sup>1</sup>、正木 蓮<sup>1</sup>、  
島本 茂<sup>3</sup>、河原一樹<sup>1</sup>、吉田卓也<sup>1</sup>、大久保忠恭<sup>1</sup>
- P2-076 不安定プラークの検出を目的としたヘパラーゼ標的放射性ヨウ素標識薬剤の開発  
(神戸薬大) ○田中志歩、佐野紘平、小平美優、佐々木直人、田中 亨、灘中里美、山崎  
俊栄、力武良行、北川裕之、萩森政頼、向 高弘
- P2-077 温熱療法との組み合わせによりがん細胞への取り込みを促進しうる熱応答凝集性ポリマー  
導入リポソーム製剤の開発  
(神戸薬大) ○中田百香、佐野紘平、山崎俊栄、向 高弘
- P2-078 熱応答凝集性ポリマーPOEGMA と温熱療法の併用によるがん薬物送達の可能性  
(<sup>1</sup> 神戸薬大、<sup>2</sup> 慶應大理工) ○河上 琳<sup>1</sup>、佐野紘平<sup>1</sup>、山崎瑞穂<sup>1</sup>、山崎俊栄<sup>1</sup>、早川 舞<sup>2</sup>、  
チッテリオダニエル<sup>2</sup>、蛭田勇樹<sup>2</sup>、向 高弘<sup>1</sup>
- P2-079 臨床分離株 *Vibrio vulnificus* M2799 株由来ペリプラズム結合タンパク質 FbpA の立体構造解  
析 ―結晶化条件の検索と初期構造の決定―  
(<sup>1</sup> 大阪医薬大薬、<sup>2</sup> 松山大薬) ○戎谷知樹<sup>1</sup>、宮本勝城<sup>1</sup>、田邊知孝<sup>2</sup>、舟橋達也<sup>2</sup>、箕浦克  
彦<sup>1</sup>、尹 康子<sup>1</sup>、友尾幸司<sup>1</sup>
- P2-080 グラフェンの表面修飾によるクライオ電子顕微鏡用機能化グリッド開発  
(<sup>1</sup> 阪大院薬、<sup>2</sup> 阪大先端学際研、<sup>3</sup> 和歌山県立医大薬) ○鍵水星奈<sup>1</sup>、浅原時泰<sup>1,2</sup>、森口舞  
子<sup>3</sup>、井上 豪<sup>1,2</sup>
- P2-081 転写因子 Sp1 の核輸送における zinc finger-importin 相互作用の機能特性  
(同志社女大薬) ○田嶋竣介、村上恵美、桑原 淳
- P2-082 選択的ジスルフィド交換反応制御における Cys 残基間の距離重要性  
(<sup>1</sup> 同志社女大薬、<sup>2</sup> 広島大院医歯薬保、<sup>3</sup> 兵庫県立大理、<sup>4</sup> 北里大薬) ○川人友里<sup>1</sup>、横関麻  
佑<sup>1</sup>、岸 果苗<sup>2</sup>、中川由佳<sup>3</sup>、羽森真美<sup>4</sup>、根木 滋<sup>1</sup>

## 【生薬学・天然物化学部会】

- P2-083 がん幹細胞に対する駆逐作用を有する香辛料オオバゲッキツ (*Murraya koenigii*, 葉部) 由来  
カルバゾール成分の合成  
(京都薬大) ○川竹永伽、大城優太郎、市岡 桜、中村誠宏
- P2-084 天然由来成分シクロヘキセニルカルコン panduratin A のがん細胞に対する抑制作用および  
親和性を示すタンパク質の解明研究  
(京都薬大) ○金子萌恵、石倉玲愛、中村誠宏
- P2-085 苦参 (*Sophora flavescens* Aiton, 根) 含有プレニルフラボノイドのヒアルロニダーゼ阻害活性  
(<sup>1</sup> 近畿大薬総研、<sup>2</sup> 近畿大学アンチエイジングセ) ○西川勝悟<sup>1</sup>、萬瀬貴昭<sup>1</sup>、楡 光世<sup>1</sup>、  
中村萌笑<sup>1</sup>、森川敏生<sup>1,2</sup>

- P2-086 麻黄附子細辛湯懸濁時に生じる分散系の評価 —主要成分含有量の分布とその小腸膜透過性—  
(近畿大薬) ○吉富丈治、出口粧央里、大竹祐子、遠藤雄一、小竹 武、長井紀章
- P2-087 「はなっこりー」による高血圧予防/治療効果の探索研究  
(神女大院健康栄養) ○永瀬 葵、赤松紗衣、司田夏海、吉川 豊
- P2-088 コーヒーに含まれる化合物のメイラード反応生成物による高血圧の治療・予防の検討  
(神女大院健康栄養) ○司田夏海、赤松 紗衣、小濱 百合、吉川 豊
- P2-089 アマチャ (*Hydrangea macrophylla* var. *thunbergii*) のカルスにおけるデヒドロイソクマリン生成の検討  
(京都薬大) ○高見朋花、月岡淳子、有尾友希、中村誠宏
- P2-090 染料アカネ (*Rubia argyi*, 根部) 由来成分 RAVII の抗がん作用評価と生細胞イメージングシステムを用いたがん細胞の経時的形態変化による作用機序解析  
(京都薬大) ○大工原葵、浅尾百香、澤田智佳子、月岡淳子、齊藤洋平、中山祐治、中村誠宏
- P2-091 リンドウのアントシアニン輸送解析を目指した ABCC、MATE 輸送体のクローニングと解析  
(<sup>1</sup>神戸薬大、<sup>2</sup>東京農業大、<sup>3</sup>岩手生物工学セ) ○山中彩湖<sup>1</sup>、福島由貴奈<sup>1</sup>、市野琢爾<sup>1</sup>、増田和花子<sup>1</sup>、村岡優希乃<sup>1</sup>、田崎啓介<sup>2</sup>、根本圭一郎<sup>3</sup>、西原昌宏<sup>3</sup>、土反伸和<sup>1</sup>
- P2-092 ウマノスズクサのアリストロキア酸合成系における O-methyltransferase の機能解析—アリストロキア酸合成酵素の探索と機能解析—  
(<sup>1</sup>神戸薬大、<sup>2</sup>京大院生命、<sup>3</sup>名市大院薬、<sup>4</sup>サントリー生命科学財団・生有研) ○清水優香<sup>1</sup>、松井俊樹<sup>2</sup>、土反伸和<sup>1</sup>、寺坂和祥<sup>3</sup>、佐藤文彦<sup>2,4</sup>、山田泰之<sup>1</sup>
- P2-093 脱脂米糠による持久的運動への影響  
(<sup>1</sup>神女大院健康栄養、<sup>2</sup>株神明) ○田村璃音<sup>1</sup>、乙坂あやみ<sup>1</sup>、橋本優希<sup>1</sup>、木村大輔<sup>1</sup>、藤尾益人<sup>2</sup>、吉川 豊<sup>1</sup>
- P2-094 オオモンツチバチ毒液中に含有する新規ペプチド成分のアミノ酸配列解析  
(近畿大薬) ○村井亮祐、村田和也、遠藤雄一
- P2-095 マイクロ波加熱還流を利用したカルバゾール誘導体の合成とアルカロイド合成への展開  
(京都薬大) ○峻 朋美、奥田晴生、大城優太郎、中村誠宏
- P2-096 オオバゲッキツ葉部由来の酵素群を利用したグラニルカルバゾールの合成  
(京都薬大) ○市岡 桜、池田匠吾、川竹永伽、月岡淳子、中村誠宏
- P2-097 タイ天然薬物 Phayom (*Shorea roxburghii*) 由来オリゴスチルベノイドの PTP1B 阻害活性  
(<sup>1</sup>近畿大薬総研、<sup>2</sup>近畿大アンチエイジングセ) ○石川和奏<sup>1</sup>、長友暁史<sup>1</sup>、神田愛華<sup>1</sup>、萬瀬貴昭<sup>1</sup>、森川敏生<sup>1,2</sup>
- P2-098 当帰の香気成分プロファイルの産地特性に関する研究  
(<sup>1</sup>近畿大薬、<sup>2</sup>福田商店) ○盛 大翔<sup>1</sup>、高浦佳代子<sup>1</sup>、佐藤希美<sup>1</sup>、福田浩三<sup>2</sup>、遠藤雄一<sup>1</sup>
- P2-099 アルカロイド生産性ピキア酵母における輸送体発現と生産性変化の検討  
(<sup>1</sup>神戸薬大、<sup>2</sup>石川県大、<sup>3</sup>京大院生命、<sup>4</sup>大阪公大理) ○川中春乃<sup>1</sup>、西海夏希<sup>1</sup>、潤井みや<sup>1</sup>、山田泰之<sup>1</sup>、中川 明<sup>2</sup>、南 博道<sup>2</sup>、佐藤文彦<sup>3,4</sup>、土反伸和<sup>1</sup>

- P2-100 幼若期クラリスロマイシン投与マウスで見られる回腸の腸管免疫低下に対して有効な漢方薬の探索  
(摂南大薬) ○岡田真依、石原百華、村田彩綺、竹本羽那、喜多絢海、荒木良太、矢部武士
- P2-101 生細胞イメージングシステムを利用した生薬川骨由来成分の抗がん作用の機序解析  
(京都薬大) ○原みなみ、澤田智佳子、齊藤洋平、中山祐治、中村誠宏
- P2-102 がん幹細胞に対する駆逐作用を有するアカネ (*Rubia argyi*, 根部) 由来成分の探索研究  
(京都薬大) ○清水晴志、月岡淳子、澤田智佳子、中村誠宏
- P2-103 植物染料素材“藤黄”由来プレニルキサントンのコラゲナーゼ阻害活性  
(<sup>1</sup>近畿大薬総研、<sup>2</sup>近畿大アンチエイジングセ) ○西村 晴<sup>1</sup>、萬瀬貴昭<sup>1</sup>、西さくら<sup>1</sup>、羅鳳琳<sup>1</sup>、森川敏生<sup>1,2</sup>

### 【在宅医療推進教育プログラム (HOPE)】

- HP2-01 一日在宅体験を通じて学んだこと ～在宅医療における気づきの場を得て～  
(近畿大薬) ○清水明風
- HP2-02 薬剤師の在宅医療への介入  
(武庫川女大薬) ○宮西沙知
- HP2-03 在宅医療で求められる薬剤師能力  
(大阪医薬大薬) ○村井絵璃華
- HP2-04 ABC 薬局から学んだ地域薬局としての役割と在宅医療について  
(大阪医薬大薬) ○長谷美咲
- HP2-05 ABC 薬局で展開される地域連携を通じた在宅医療における薬剤師の貢献  
(阪大薬) ○新田そよかぜ
- HP2-06 人をみる在宅医療  
(大阪医薬大薬) ○米田奈緒
- HP2-07 ぼうしや薬局が目指す在宅医療のあり方  
(兵庫医大薬) ○川口将史
- HP2-08 在宅医療特化型薬局で学んだ在宅医療  
(摂南大薬) ○松平栞奈
- HP2-09 薬局を取り巻く在宅医療のリアルとこれから  
(大阪医薬大薬) ○伊藤今宵
- HP2-10 在宅医療における薬剤師の役割について  
(摂南大薬) ○井上まい
- HP2-11 患者さんの生活の中に入っていく薬剤師  
(大阪医薬大薬) ○松川知聖
- HP2-12 これからの在宅医療での薬剤師の在るべき姿  
(大阪医薬大薬) ○赤松百華

- HP2-13 在宅医療における薬剤師の役割  
(大阪医薬大薬) ○上田彩華
- HP2-14 在宅医療における薬剤師の役割  
(武庫川女大薬) ○森口友貴
- HP2-15 在宅医療における薬剤師の重要性  
(武庫川女大薬) ○前川ののか
- HP2-16 在宅医療における薬剤師の重要性  
(武庫川女大薬) ○渡辺万祐子
- HP2-17 在宅医療を通して感じた今の時代の薬剤師  
(大阪医薬大薬) ○堂山颯太
- HP2-18 在宅医療における薬剤師の患者への関わりについて  
(大阪医薬大薬) ○田中瑚子
- HP2-19 在宅医療での薬剤師の役割  
(大阪医薬大薬) ○浅野 悠
- HP2-20 在宅医療における薬剤師の重要性  
(武庫川女大薬) ○高橋朋花
- HP2-21 在宅医療における薬剤師の重要性  
(武庫川女大薬) ○満田真衣
- HP2-22 在宅医療への理解を深めるために  
(摂南大薬) ○安西栄人
- HP2-23 在宅医療を通して  
(摂南大薬) ○日下太樹
- HP2-24 在宅医療における薬剤師の在り方  
(大阪医薬大薬) ○長崎友咲
- HP2-25 在宅での連携  
(摂南大薬) ○西脇伽弥
- HP2-26 在宅医療の現状と超高齢社会における役割  
(大阪医薬大薬) ○水田梨穂
- HP2-27 薬剤師と在宅医療の向き合い方  
(大阪医薬大薬) ○渡辺乃愛
- HP2-28 在宅医療での他職種連携における薬剤師の役割  
(兵庫医大薬) ○安田聖菜
- HP2-29 山田衛生堂薬局の在宅医療における特徴と活躍について  
(大阪大谷大薬) ○藤井李早
- HP2-30 アサップ薬局での在宅医療と薬剤師の活躍について  
(大阪大谷大薬) ○澤田優果

---

---

第73回 日本薬学会関西支部総会・大会 プログラム集

令和5年9月25日 発行

編集 〒650-8586 兵庫県神戸市中央区港島 1-1-3  
神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス  
第73回日本薬学会関西支部総会・大会組織委員会  
Tel 078-974-1551

発行 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町  
京都大学薬学部内  
日本薬学会 関西支部  
Tel 075-761-7849

印刷 〒112-0014 東京都文京区関口 1-19-2  
日本ハイコム株式会社  
Tel 03-3235-4441 (代)

---

---

# ヘルスケアの未来を デザインする。

I&H

私たちI&H株式会社は、  
人と人のつながりを大切に、  
健康が笑顔の源泉になる  
社会づくりを目指す  
総合ヘルスケア企業です。

グループ全体  
店舗数 **559**

北海道 81 関東 64  
東北 甲信越

北陸 35 関西 284  
東海

中四国 45 九州 50  
沖縄

2023年8月1日 現在



**薬局事業**

- 専門医療機関連携薬局
- 地域連携薬局



**介護福祉事業**

- サービス付き高齢者住宅
- デイサービス



**ヘルスケア事業**

- 配食サービス
- PB商品の開発・販売



**教育事業**

- 社内学会、各種学会参加
- 専門薬剤師育成



**派遣紹介事業**

- 人材紹介・派遣



**コンサルティング事業**

- 医師盛業支援
- 医薬承継サポート



**認定栄養ケア・ステーション**

- 栄養相談
- 特定保健指導

I&H



<https://i-h-inc.co.jp>

**ILW**

LABORATORY INSTRUMENT & GLASSWARE



Catalytic Hydrogenator



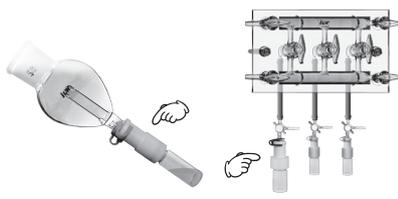
vacuum sample drying oven



Magnetic Stirrer



Flexible Stirrer



PTFE Vial Adapter

Catalytic Hydrogenator

Vacuum Sample Drying Oven

Magnetic Stirrer

Heating Mantles for Stirrer

Flexible Stirrer

Thermostat

Thermosensor

Syringe Pump

Chemistry Vacuum Pump

Vacuum Gauge

Bath

PTFE Vial Adapter

Vacuum Adapter for filtering

Manifold

Glass Adapter

Condenser

Flask

Separatory Funnels

Chromatographic Columns

株式会社石井理化  
ISHII LABORATORY WORKS

〒564-0025 大阪府吹田市南高浜町16-29

TEL (06)6382-4752

FAX (06)6382-6246

E-mail info@ilw.co.jp

URL <http://www.ilw.co.jp>

ILW



企業理念 PHILOSOPHY

1. 安全と安心を真心こめて手渡し致します
2. 保健医療、在宅医療、予防医療を通じて地域に貢献します
3. 患者さんから信頼される薬局を目指します

廃棄処分したい  
**試薬・薬品・ボンベ 等はありませんか？**

試薬・薬品・ボンベを  
 長期保管すると・・・

不要となった試薬や薬品。  
 その保管や廃棄は、大きなリスクやコストを  
 伴います。守るべき安全性や環境保全の  
 観点からも、不要試薬には早期・適正な  
 処理が求められます。



わたしたち、  
**大阪薬研に全て  
 おまかせください！**

まずはお気軽にお問い合わせを  
 【関西】TEL 072-726-1162  
 【関東】TEL 047-302-3271  
 【WEB】<http://www.yakken.co.jp>

ほかにも・・・

- 盗難や紛失、容器の破損など、事件・事故の原因となる危険性があります。
- 気化や液化による大気汚染の危険性があります。(有機水銀、有害物質等)
- 水や空気との接触によって爆発する危険性があります。(金属ナトリウム等)
- 成分や品質が劣化するため、試薬として利用出来なくなります。
- 消防署の立ち入りおよびその他の法的な管理を遂行する必要があります。



試薬と環境の未来を拓く  
**YAKKEN 大阪薬研株式会社**  
<http://www.yakken.co.jp>

【本 社】〒562-0015 大阪府箕面市稲5丁目13番10号  
 TEL:072-726-1162 FAX:072-726-1170  
 【東京営業所】〒273-0034 千葉県船橋市二子町565  
 TEL:047-302-3271 FAX:047-302-3270

事業内容

- 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 試薬・医薬・理化学機器の販売
- 研究設備の製造販売 ■ 不要ボンベの回収



クオールの  
詳しい情報は  
こちらから



採用についてのお問い合わせはこちらへ

**クオール薬局**  
Quality of Life

クオール株式会社 [薬剤師採用担当] | ✉ [recruit@qol-net.co.jp](mailto:recruit@qol-net.co.jp) | ☎ 0120-303-811  
〒105-8452 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー37階 <https://www.qol-net.co.jp/>

毎日の  
安心を届ける

住まいのそばのドラッグストアに  
自分や家族の健康を把握してくれている  
薬剤師がいて、いつでもアドバイスを送ってくれる。  
そんな安心できる環境を  
私たちサンドラッググループの薬剤師は  
地域の皆様にお届けしています。



Entry

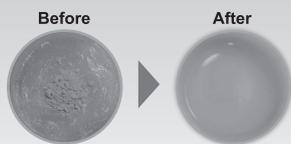
SUNDRUG GROUP

THINKY

軟膏調剤のスタンダード

# なんこう練太郎

お手軽 簡単 コンパクト



## マルチアダプター &フリーバランス

- マルチアダプターで各種軟膏容器に対応\*
- バランス調整不要でスピーディーな調剤を実現



\*市販の軟膏容器9割以上に対応しています。詳細はお問い合わせください。



**NRE-250**

H380×W300×D340 (mm)  
約 22kg



**NRE-120A**

H351×W264×D272 (mm)  
約 20kg

採用実績と全国サポートの安心感

自転・公転ミキサー 軟膏調剤・製剤機

「なんこう練太郎」シリーズ

全国の病院・クリニック、調剤薬局で活躍中です。

デモ機貸出  
1週間無料  
予約受付中!

大量の予製・製剤をする  
薬局、病院に最適

**NRE-500**

H692×W500×D500 (mm)  
約 93kg



コンパクト設計・  
少量の調剤に最適

**NR-50**

H328×W250×D250 (mm)  
約 15kg



株式会社 シンキー

<https://www.thinkymixer.com/ja-jp/nanko>

無料相談フリーダイヤル



**0120-660-318**

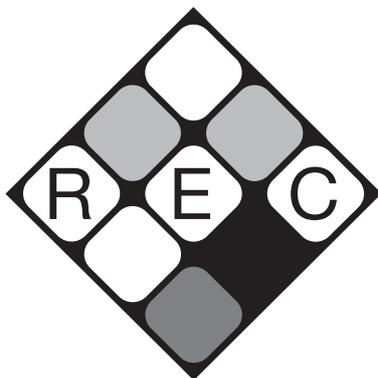
平日 9:30~12:00 / 13:00~17:00 (土日・祝日休み)

なんこう練太郎

検索



なんこう練太郎 HP



## Real Education Company

# 薬剤師国家試験予備校 REC

講師職採用中!!

当社WEBサイトより、ぜひ講師職説明会にご参加ください。  
<https://recruit.rec123.co.jp>





# 夢を叶えるために 薬ゼミがある



薬学ゼミナールでは、45年以上の実績に裏付けられた  
たくさんのノウハウがつまったカリキュラムと、  
温かさで厳しさでサポートする講師陣が、  
一人でも多くの意識高き薬剤師の輩出を目指します。  
人と人、心と心のふれあいを大切にできる薬剤師を育成するために、  
私たちは学生一人ひとりに向き合います。



学校法人  
医学アカデミー

**薬学ゼミナール**

薬剤師国家試験対策予備校

お申込・お問合せは  
<https://www.yakuzemi.ac.jp>

 0120-77-8903

絶対合格したい!薬学生の皆さんへ

ファーマプロダクトの



第108回 薬剤師国家試験

# 合格体験記



村上さん(武庫川女子大学)

ほんとに?信じられない!卒延の私が国試本番で290点。たった1年、基礎から理解するだけで前年比+120点で合格!



鈴木くん(愛知学院大学)

講師陣の「絶対合格させる」という熱量はホンモノ!ファーマを信じて+110点。合格しました。



吉村さん(松山大学)

自己ベスト更新!自己採点が終わったとき、点数を三度見してしまうくらい信じられなかったです。



武田くん(日本大学)

かつての捨て科目が、合格を導く得点源に。オリジナルテキストや講義を活用したら、262点(前年比:+62点)で合格しました。



田殿さん(武庫川女子大学)

苦手を避けて、背伸びをして、遠回りをした2年間。絶望の涙が、やる気の涙に。そして、喜びの涙に変わりました。



山下くん(日本薬科大学)

暗記をやめて考える力を強化。友人と一緒に先生の解き方を真似して+112点。272点で合格しました!



瀧田さん(神戸薬科大学)

やったつもりで、わからない。そんな悩みがあっさり消滅。「あっ!わかった!!」で絶対合格をつかみました。



河本くん(愛知学院大学)

友人の誘いによって大正解。他の予備校には無い「わかりやすさ」と「アットホームさ」で楽しく勉強。無事に合格をつかみました!



松村さん(武庫川女子大学)

使い込んだ宝地図=ボロボロになった問題集。コツコツ頑張った1年間。国試の自己採点は、250点で手が震えました。



清水くん(愛知学院大学)

基礎固めのつながる講義。つなげた知識で問題演習。この勝ちパターンを信じて急成長。ラスト2ヶ月で+50点。無事に合格をつかみました!



松原くん(東京薬科大学)

国試本番に、ここまで落ち着いて問題が解けたのは初めてでした。他予備校からのりかえ、ファーマを選んで良かった!



加藤さん(愛知学院大学)

現役時代と同じ勉強ではだめ。新しい環境を活かし【自分で考える力】を養って272点で合格。余裕をもたせた計画をやりきり、確実に成長しました!



Mさん(金城学院大学)

生徒ひとりひとりを、ちゃんと見てくれるから安心。疑問がどんどん解消され、スラスラ解ける。前年比+116点、256点で合格しました!



齋藤くん(日本薬科大学)

守ヶ洞先生の言葉を信じて、毎日通学。インプットとアウトプットを繰り返すだけで、前年比+157点。大きく得点をのぼし277点で合格しました!

2WAYの便利な  
薬剤師国家試験解説書も  
毎年好評発売中!!



## 合格体験記は HPでも公開中!

ファーマプロダクト

ファーマプロダクト

検索



# MP ラーニング

新しい時代を担う薬剤師の  
生涯学習をサポートします!

様々なニーズにお応えする  
コンテンツをご用意!

- 疾患・治療、漢方\*
- 小児疾患\*
- OTC・サプリメント
- 服薬・健康支援
- 在宅支援
- 調剤報酬 など

800  
コンテンツ以上公開中  
毎月追加あり!

※「漢方薬・生薬認定薬剤師」、「小児薬物療法認定薬剤師」の更新に対応したコンテンツあり



1コンテンツ30分

3コンテンツ受講で  
1単位

1コンテンツを分割して  
受講することも可能

学習の進捗が保存され  
次回は続きから受講OK!

パソコン・タブレット・  
スマートフォンで受講可能

途中で端末を  
変えてもOK!



## ▶ 受講料金 (年間/1人)

クレジットカード(オンライン決済)もしくは口座振込

研修認定薬剤師 新規取得コース

新規取得または再申請の予定の方

16,500円 (税込)

研修認定薬剤師 更新コース

認定期間中の認定薬剤師証をお持ちの方

8,800円 (税込)

どちらのコースも全コンテンツ受講可能! 受講数の制限なし!

団体(10名以上)一括お申込みの際は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お試しで実際のコンテンツを受講できます

ホームページはこちら

<https://www.mp-learning.com/>



お問い合わせ先

MPラーニング事務局

TEL:03-5825-4131(平日 9:30~17:30)

E-mail : mpl-info@mp-learning.com

